

# FFG調査月報

MONTHLY REPORT

5/6

2023.MAY・JUN  
VOL.155

## Top Interview

株式会社 成斗工務店 相談役 中島 一成 氏 ・ 代表取締役社長 中島 勲 氏

宗教法人 阿蘇神社 宮司(代表役員) 阿蘇 惟彦 氏

福丸建設 株式会社 代表取締役社長 増田 貴光 氏

 福岡銀行

 熊本銀行

 十八親和銀行



懐かしい  
情景を  
探して

Looking for a nostalgic scene

# 絶景の島 甑島



▲中甑島と下甑島をむすぶ全長1,533mの「甑大橋」



▲上.手打麓武家屋敷通り／下.美しい砂浜の手打浜



▲ナポレオン岩(高さ127m)

## ●手打集落

住所：  
鹿児島県  
薩摩川内市  
下甑島手打



ひと昔前まで、朝はニワトリの鳴き声で目覚め、夕方には役場の町内放送が聞こえてくる場所は日本中にあつたが、今では探すのも一苦勞である。薩摩川内市の沖合26kmに浮かぶ、断崖に囲まれた3つの島からなる甑島。その内のひとつ、下甑島の最南端「手打」集落は今もなお、そんな音が残っている。

朝七時には「恋は水色」のメロディが流れ、つられてニワトリの鳴き声もひととき大きくなるようだ。時折、神社清掃や星の観察会参加を募る放送などが流れることもある。

すれ違う人には会釈し気軽に声をかけるし、中学生は立ち止まり走る車に向かってお辞儀をする姿には驚かされる。漂着物の多い砂浜にもゴミは無く、路地裏も清掃が行き届いている。過疎化が進む島だが、気持ちの良い暮らしぶりにかつての美しい日本が残っている。

(文・阿井川圭)



# CONTENTS



懐かしい情景を探して 絶景の島 甌島	2	32	START UP Company 株式会社 ABCash Technologies
<b>Top Interview</b>		34	イベント参加のすゝめ 福岡県アツギ(家業後継者) 支援プログラム「ISSIN」のご案内
2 <b>福岡銀行</b> 株式会社 成斗工務店 相談役 代表取締役社長 中島 一成氏 ・ 中島 勲氏	36	36	地銀9行連携レポート 福岡銀行 大学生が提供する社会課題解決の処方箋
8 <b>熊本銀行</b> 宗教法人 阿蘇神社 宮司(代表役員) 阿蘇 惟邑氏	40	40	GOLF MEGA STAR 高校生ゴルファー 中間 理桜氏
14 <b>十八親和銀行</b> 福丸建設 株式会社 代表取締役社長 増田 貴光氏	42	42	九州の星 株式会社 ウラノ 長崎工場 利益創出グループ 濱田 侑希恵氏
26 地域とつながるFFG連携プロジェクト お酒のおともはエンニチで! 九州酒蔵びらきにエンニチ人気銘柄が来店!	44	44	釣り道 幽玄の火口湖 ハス編
30 大連駐在員報告 中国における若年層の就業について	46	46	長崎だより 日本の原風景である「棚田」を 未来永劫残すために

バックナンバー  
のお知らせ

「FFG調査月報」のバックナンバーは、ふくおかフィナンシャルグループのホームページにてご覧いただけます。



## 今月の表紙 福岡大名ガーデンシティ(福岡市中央区)

表紙の写真は、福岡市が推進する天神ビッグバンの第2号案件として大名小学校跡地に開発が進められている福岡大名ガーデンシティのメイン棟「福岡大名ガーデンシティ・タワー」です。

注目のショップや有名レストランなど多彩な商業エリアや専有面積約2,500㎡を誇るハイグレードオフィス、九州初進出のラグジュアリーホテル「ザ・リッツ・カールトン福岡」(6月21日開業)が入居しています。江戸時代より残るかぎ型路地から着想した立体的に雁行するシンボリックなデザインタワーを上げると、地域交流の場「福岡大名ガーデンシティ・パーク」が広がります。

福岡大名ガーデンシティがアジアのリーダー都市へと進化を遂げている福岡の新たなランドマークとなることが期待されています。



福岡銀行

企画から管理まで自社一貫システムで、  
アパート事業を中心に躍進し続ける。

株式会社 成斗工務店

なるとうこうむてん

相談役

中島一成氏

代表取締役社長

中島勲氏

取引店／福岡銀行姪浜支店

#### ■会社概要

創業:1973年(個人創業)／設立:1990年(有限会社成斗工務店)／所在地:福岡市西区／資本金:2,000万円／従業員:35名／事業内容:総合建設業、不動産業(不動産の賃貸・売買・賃貸マンションの入居者管理、その他不動産業全般、不動産ポータルサイト運営)／関連会社:株式会社ケーエヌティーホールディングス、株式会社関西成斗工務店、株式会社K・コーポレーション、株式会社トラス

会社ホームページは  
こちらからどうぞ!







株式会社

本社事務所玄関前(左から中島勲社長、中島一成相談役、五島頭取)

## 宅地開発ブームのついで 兄弟で事業を開始、会社設立へ

私は1950年、長崎市最南端の半島・野母崎のもさきに生まれました。4人兄弟の長男の私は、ともに事業を始めた次男、現社長を務めている四男・勲らとともに、この漁師町で育ちました。家業も漁師であったため、子どもの頃から漁師になるのが当然と思っていました。転機となったのが同郷の家族が乗る漁船の転覆事故でした。漁師の仕事は天候に左右され、常に危険と隣り合わせではないか自分の家族が不幸になつてしまうのではないかと思い、中学3年生になる時に、一人で大工業を営んでいた親戚を頼つて、ここ姪浜にやつて来ました。新聞や牛乳配達、ゴルフ場などでアルバイトをしながら学費を納め、生活費を親戚に預けました。残りのわずかなお金を貯蓄して、建築の専門学校に進学。卒業後、地元の工務店で2年半、親戚の大工の手伝いを1年ほど続けたのち、独立するために一旦故郷・野母崎に戻りました。

野母崎で住宅を一人で建てたのが1973年、私が21歳の時です。建築の免許を取得し、オイルショックの真っただ中に大工業を個人創業し、再度福岡に戻りました。広島島の家具工場で働いていた弟を呼び寄せ、2人で事業を始めました。この頃は宅地開発ブームで、福岡県内

のあちこちにいわゆる「団地」と呼ばれる戸建ての住宅地が誕生していました。そのブームの中で、私は弟と一緒に労務にあたる人件費だけをもらう「手間請け」の形で、次々と一軒家を建てていったのです。「他の人が1軒建てる時間で2軒建てよう」と、現場の押し入れに寝泊まりしながら、朝6時から深夜にかけて作業を続けました。

しかし、手間請けだけではなかなか利益は上がりません。そこで材木業者に交渉し、材料の仕入れまでも始めました。そうすることで売上げが着実に伸び、売上高が1億円を超えたところで、1990年に法人化、「有限会社成斗工務店」が誕生しました。

社名の「成斗」の由来は、私の名前から「成」を、星座の北斗七星から「斗」として名付けています。北斗七星を目印に探す北極星は動かないことから、この北極星のように揺るぎない信念と、創業当初の目標を忘れずにいようという思いを込めて社名にしました。また、この北極星を意味する「ポラリス」は、現在当社の物件「ポラリスシリーズ」として使用しています。

## 不動産事業に進出 企画から管理まですべて自社で担う

法人化後の1995年、大学の電子工学部を



5



3 1



6



4 2







中島一成相談役

卒業し、川崎で設計などを担当していた現社長・勲が入社してくれました。勲はそれ以前から当社の事業を見て「もっと見直すべき部分があるのでは」と、アドバイスをしてくれていました。弟の能力をこの会社で活かしてほしいと思ったものの、上場企業からの転職は年収が大幅に減ってしまうこととなります。しかし、勲は「戻りましょう」と言ってくれ、現場や営業などを経て、現在は社長として頑張ってくれています。その後、1997年に株式会社で商号変更すると同時に、不動産業に進出しました。住宅は引き渡してしまつたらお客様との関係が終わってしまいますが、自社で管理することで、お客様と長い付き合いになることが最大の魅力です。最初の物件は1998年、福岡市東区下原の6戸と8戸のアパートでした。まだこの頃は、

平日は手間請けの仕事をしつつ、日曜日になると下原に行ってアパートを建てていて、そのため利益はわずかなものでした。ただそれでも自分たちが管理まで一貫してできたことは大きな喜びでした。

同じ頃には公共事業も始めています。主だった事業では、能古島展望台、西部運動公園や東平尾公園のサッカースタジアムの屋根シート工事などを、当社はこれまで手掛けてきました。公共事業を担うことは、事業を進める上で大きな信頼につながります。現在、当社の事業の95%がアパート事業ですが、公共事業も毎年継続しています。こうした事業が相乗効果を生み、おかげさまで今年3月で、管理棟数490棟、管理戸数3,260戸、駐車場管理台数900台に上っています。

当社の強みは、木造アパートを中心に一戸建住宅から商業店舗、RC（鉄筋コンクリート）造の収益ビルなどの企画から提案・販売、設計、施工、そして管理までの一貫したサービスを全て自社でできることです。とくに企画力に関しては3階建てアパートやロフト付き居室を当社が全国に先駆けて設計し、許認可を取得して建設しました。

また、2014年には、九州地区以外にも事業を拡大するべく、「株式会社大阪成斗工務店」を設立。場所は違えど、事業方針は福岡と



11 9



7



8



10



8

- 1.対談風景／2.3.4.本社上階にある入居前の賃貸用居室を見学／5.6.木造3階建てのポラリスシリーズ／7.木造2階建てのポラリスシリーズのロフト／8.1LDK+ロフトの賃貸型木造ガレージハウス／9.RC4階建て賃貸用マンションのアリエスシリーズ／10.公共工事実績（外壁改修工事）／11.企業メッセージ



# 株式会社 成斗工務店



前列左3人目から中島勲社長、中島一成相談役、五島頭取、森永支店長(福岡銀行)

同じで、どのくらい通用するのかは未知数でしたが、大阪から兵庫、京都へと、関西の各エリアに広げることで、事業が定着しています。現在は「株式会社関西成斗工務店」と名称を変更し、私の長男・誠二に社長を任せています。その他、アパート、マンションの管理業を手掛ける「株式会社K・コーポレーション」「株式会社トラス」などを含めて、2022年11月に持株会社「株式会社ケーエヌティーホールディングス」を立ち上げました。私が代表に就任し、グループの資産を一括管理しています。

## 社員一人ひとりの頑張りに 応える会社でありたい

当社では、社員の頑張りに応える給与体系を実現しています。そのためにも、まずは年2回の決算報告書を社員に公開し、経営状況を社員がしっかりと把握できるようにしています。さらには年功制と同時に、実力に応じた歩合制も採用しています。社員には資格取得を推奨しており、現在は1級建築士が2名、2級建築士が5名、宅地建物取引士が5名など、社員のほとんどが何かしらの資格を持っています。また、当社では長く務めている社員も多く、定年後に備え、アパート経営も勧めています。

これからの日本は人口が減少し、その一方で



中島 勲社長

所得格差がますます開いていくと言われていますが、その中にもあっても社員には、少しでも安定した生活を送るために、今から準備をしてほしいと思っています。

### 入居率の実績は最低でも98% 時代に左右されない経営を

当社の経営の主力であるアパート事業に関して、現在、オーナー様の募集はインターネットのみで、新聞への広告出稿やチラシ配布は行っておりません。ほとんどが口コミでのご相談いただいたお客様で、飛び込みの営業もありません。時代の流れもありますが、それだけ信頼を得てきた証ではないかと思っています。さらに、お客様を焦らせるような営業をすることはなく、お客様には

「他のところも見てから考えてください」とお願いしています。自社の事業に自信があるのと同時に、オーナー様の人柄を見て、その声に耳を傾けることを大切にしているのです。

さらに管理物件に関しては、当社管理の物件で入居率が98%を下回ったことはありません。オーナー様に家賃保証を依頼されることが稀にありますが、家賃保証がなくとも入居率は高水準であるため、安心してお任せいただいています。当社は自社で近隣の家賃水準を独自調査しており、適切な家賃を設定しているからだと考えています。

現在業界を取り巻く環境は、世界的な資材不足の影響もあり、建設会社各社は大きな痛手を負っています。しかし当社はそのような影響をほとんど受けておりません。毎年、数百戸もの建設を手掛けているため、エアコンなどの備品や材料は1、2年間分まとめて仕入れられるように手配済みであり、備品や材料が不足するという不安を持つことなく、新規物件の建設に着手できています。社員には常に「世の中に左右されて仕事するのではなく、常に先を見て、自分たちがコントロールするようになるう」とも伝えていきます。これからも、入居者様にもオーナー様にも、そして会社にとっても「三方よし」であり、時代に左右されずに成長できる会社であり続けたいと願っています。

## ■ インタビューを終えて

福岡銀行 取締役頭取 五島 久

当社は、アパート事業を中心に、企画から販売、設計、施工、管理まで、自社で一貫して手掛けることで、業界有数の高い入居率を維持されています。また、「時代の先を見る」ことで経営環境の変化にも対応し、創業以来安定した黒字経営を続けられています。

昨年11月には持株会社を設立、創業50周年となる今年3月には新社屋も竣工されました。今後とも、入居者様、オーナー様、当社にとって「三方よし」を貫きながら、次の目標である100年企業を目指し、更に発展されることをお祈りいたします。







 熊本銀行

震災からの復旧事業に取り組み、  
文化と歴史を守り続けて  
地域住民の心の支えになる。

宗教法人 阿蘇神社  
あそじんしゃ

宮司(代表役員)  
阿蘇惟邑氏  
あそこれくに

取引店／熊本銀行 宮地支店

#### ■阿蘇神社概要

所在地:熊本県阿蘇市一の宮町／職員数:13名／  
国重要文化財:一の神殿、二の神殿、三の神殿、  
楼門、神幸門、還御門

阿蘇神社  
ホームページは  
こちらからどうぞ!







拝殿前(左から阿蘇宮司、野村頭取)



## 阿蘇の国の開拓神を祀る神社

阿蘇神社は、周囲を雄大な山々に囲まれた阿蘇地域の中央部に鎮座しております。阿蘇は古代より神秘的な国とされ、「阿蘇を語らずして肥後の歴史を語ることはできない」といわれました。

神社の創建は、社記によれば孝靈天皇9年（紀元前282年）とあり、約2300年の歴史を有していることとなります。神武天皇の孫神であり阿蘇の国の開拓神とされる健甞龍命（あいつわたののみこと）を始め、家族神12神をお祀りしておりますが、健甞龍命は阿蘇を開拓するにあたり外輪山の西側を蹴破り、火口原の水を落としたと伝えられております。古来、阿蘇山火口をご神体とする火山信仰と融合し、肥後国一の宮として崇敬を集めてまいりました。

当神社は、全国に約500社ある「阿蘇神社」の総本社でもあります。当初より宮司職を世襲する阿蘇氏は、わが国でも有数の旧家として知られ、中世には武士化して肥後国を代表する豪族に成長。500社におよぶ分社が存在するのは、そうした歴史的背景がある

と考えられています。

阿蘇家の92代目当主となった私は、幼少時代は國丸（くにまる）という幼名でした。成人儀式の元服を経て、名前は現在の惟昌に変わっています。昔は元服で改名する年齢は15歳でしたが、私が改名したのは20歳の時になります。

阿蘇家では歴代当主の幼名に「丸」が入っており、元服した後の名前は「惟」を通字にします。父の幼名は潔丸（きよまる）、元服後は惟之（よのちか）という名前です。初代からこの慣例は続いています。

### 神殿と楼門などの6棟が 国重要文化財に

阿蘇神社の長い歴史において、社殿は幾度となく、自然災害などによって罹災してきましたが、そのたびに先人たちの知恵と努力によって建て直され、大切に守られてまいりました。

現在の神社のおもな社殿群は、江戸末期に熊本藩の寄進によって再建されたものです。神殿や楼門などの6棟は、2007年に国の重要文化財に指定されました。なかでも楼門は、同様の古建築では九州最大の規模を誇り、茨城県



鹿嶋市の鹿島神宮、福岡市の筥崎宮とともに「日本三大楼門」といわれています。

## 大地震に見舞われ 歴史ある社殿群に甚大な被害

国の重要文化財となり、参拝者を迎える門として多くの方々に親しまれた楼門は、残念ながら「平成28年熊本地震」によって倒壊しました。また、拝殿も倒壊するなど、重要文化財6棟を始めとする社殿群すべてが甚大な被害を受けました。

震災当時、私自身はまだ当神社の宮司ではなく、大分県の神社で神職の経験を積んでおりました。第一報を受けてすぐに阿蘇神社へと



阿蘇宮司

向かいましたが、現実とは思えないほどの惨状に、直後は思い悩む日々もございました。

ご存じのように、この熊本地震では当神社ばかりでなく大勢の方々が被災し、大変な思いをされました。そのような状況にもかかわらず、実に多くの方々が、私たちに温かい言葉をかけてくださり、救いの手を差し伸べて支えてくださいました。

地域のみならず、熊本県内各所から九州一円、さらには日本全国の思いがけない方々から励ましの声や寄付などが続々と届きました。当時、送られてきたたくさんの折り鶴と、東日本大震災で被災した宮城県の方々による寄せ書きは、今も社務所に飾ってあります。私たちが再び立ち上がり、再建に向けて動き出したのは、全国の皆様からのご支援とご協力のおかげです。

## 阿蘇神社復旧事業の長い道のり

2016年に着手した阿蘇神社の災害復旧は、大きく三つの事業に分けて復旧工事を進めました。まず重要文化財6棟については、



地域の方にとって  
身近に感じられる存在を  
目指し、文化と歴史を  
守り続けます。



1.2.対談風景／3.4.素屋根内から復旧中の楼門を見学／5.楼門の耐震性を高めるために合計4本の鋼管柱で補強／6.国の重要文化財に指定されている一の神殿(左)、二の神殿(右)、三の神殿(奥)／7.震災時に宮城県から送られてきたメッセージ／8.阿蘇神社からのメッセージ





前列左2人目から阿蘇宮司、野村頭取、信國支店長(熊本銀行)

2016年から2018年までの工事を第1期、2019年からの工事を第2期と位置づけ、国・熊本県・阿蘇市の補助金を充当した事業として保存修理工事を実施しています。

その他の拝殿と齋館は、寄付金が税控除される特例制度を活用した指定寄付金事業として、復旧と再建工事を実施しました。さらに、鳥居や回廊など、その他の諸施設については、一般の寄付金と自己資金を充当した事業として復旧再建工事を実施しました。

神殿の工事では、被害の大きかった「三の神殿」から取りかかり、「二の神殿」「一の神殿」へと進めていきました。幸いに倒壊には至らなかったため、文化財の価値が損なわれないよう部分的な解体修理がおこなわれました。あわせて神殿の床下には方杖ほうじえという斜め材を取り付けて耐震補強も施しています。

楼門の復旧においては、倒壊した状態からいったん解体し、部材を修復しながら再利用することで昔の姿を残したままになっています。その中で耐震性を高める工夫として、4本の鋼管柱を通したことで地震に耐える安全性を確保しています。

また、指定寄付金事業として実施した拝殿の再建については、当初は海外産の木材を用いる計画で進めていたのですが、「地域に根ざした神社には地元の木材がふさわしい」というご意見が寄せられ、見直すことに。

幸いなことに、熊本県立阿蘇中央高校から用材ご寄贈のお申し出があり、また阿蘇森林組合が用材調達にご尽力いただいたお陰で、結果的に拝殿の用材は、約8割を熊本県産材、そのうちの5割を阿蘇地域材にすることができました。これにより「郷土色を体現した復興事例」として評価をいただきました。

拝殿は、多くのご支援、ご協力のおかげで2021年7月に竣工。復旧工事の最終段階に入った楼門は現在、素屋根の解体を進めており、地震発生から8年経った今年末の工事完了を目指しています。

## 震災とコロナ禍を経験して あらためて知る神社の役割

熊本地震は、神社の歴史を揺るがした、思いもよらない出来事でしたが、その後「コロナ禍」

という、世界中を巻き込む思いがけない事態がやってきました。

農耕の開始期におこなわれる「田作祭（火振り神事）」、田植え期の「おんだ祭」など、神社が中心となり年間を通じておこなう農耕神事では、氏子を始めとする地域の皆様のご協力により規模を縮小し神事を進めてまいることができました。

コロナ禍や自然災害を経験し、私たちは神社の存在意義についてあらためて考えるようになりました。氏子の皆様のなかには「震災の時は、神社が身代わりになってくれた」とおっしゃられる方もいらっしゃいます。今後、地域の皆様の心の拠りどころとしての神社を大切に守ってまいりたいと思っております。

支えてくださったすべての方々に感謝し、御社殿の完全復興と皆様の幸せを願いつつ、日々努めてまいります。

## ■ インタビューを終えて

熊本銀行 取締役頭取 野村 俊巳



わが国における有史以前からの歴史をもつ古社である阿蘇神社は、肥後国一の宮として崇敬を集めてきました。宮司職を世襲する阿蘇家の現宮司は、記録の残るところから数えて92代目となり、阿蘇神社の文化と歴史を守り続けておられます。

平成28年熊本地震では、重要文化財となっている神殿などが被災されましたが、多くの支援に後押しされて今も災害復旧事業が進められています。今年末の楼門の復旧完了が待ち望まれるところですが、これからも末永く、地域住民の心の支えとなり、阿蘇の象徴であり続けてほしいと願っています。





十八親和銀行

強みである特許技術を駆使し、

日本全国の

港湾インフラ整備に貢献する。

福丸建設株式会社

代表取締役社長

増田貴光氏

取引店／十八親和銀行 佐世保本店営業部

#### ■会社概要

創業:1973年／設立:1976年／所在地:長崎県  
佐世保市／資本金:2,500万円／従業員:61名  
(2023年4月現在)／事業内容:砂岩浚渫工事、  
一般土木工事、内航運送業、港湾土木工事、  
とび・土工工事、船舶仲介、サルベージ工事、  
測量・設計・施工、クレーン作業

会社ホームページは  
こちらからどうぞ!







海底を掘削する浚渫船  
「第22福丸」前  
(左から増田社長、山川頭取)



## 海運事業で創業し 浚渫工事を軸に発展

当社の創業は1973年。私の父増田福一が、佐世保で海運会社「福丸海運」をその年に起こしましたが、その福一が海運事業を起したのもまた、福一の父、つまり私の祖父・福蔵が故郷・五島の若松瀬戸の高仏という地域で造船会社と海運会社を営んでいたことがきっかけでした。

福蔵が経営する会社は、日本の高度成長期とも重なって、博多との交易が盛んになり五島・若松随一の会社となります。ところが会社の全財産ともいえる機材を載せた船舶が、港の防波堤に着岸しようとした瞬間、海中の突起物に衝突しすべてを失ってしまいました。福蔵の家族はそこから一気に貧しくなり、福一は五島での生活をあきらめて中学卒業と同時に佐世保へ移り住むことにしました。福一は佐世保で職を探し、リヤカーで鉄スクラップを集め、それを売って生計を立てつつこつこつ資金を貯めていました。そうしたある日、リヤカーを引いていると佐世保川の中に沈んだ船を見つけます。船を川から拾い上げ、まだ使えると判断すると、所有者を見つけ出して譲ってもらいました。その船に五島から焼玉エンジンという旧式エンジンを取り寄せて積み、船に「福丸」と名付けました。

それが当社の社名の由来です。その福丸で海運業を始め、佐世保港と西彼杵半島の北西にある崎戸島との間で物資を運びました。今は長崎県内をはじめとして日本全国で企業活動を展開する当社ですが、創業までにはこうした苦労の積み重ねがあったのです。

当社が港湾や河川の水底に積もった土砂などを取り除く浚渫事業に着手すると、佐世保港を拠点に長崎県内の商工業港、漁港、河川などでの浚渫工事が中心となりました。

当社が得意とする浚渫工事は、現在売上の80%近くを占めていますが、見えない水中を掘削するため、数ある土木工事のなかでも最高難度の技術が要求される工事とされています。具体的には、地質、地形に応じた施工機械の選定、気象・海象条件の把握、航行船舶への影響を最小限に抑えるための施工方法の検討といった総合的な判断が不可欠となります。

さらに、浚渫工事の生命線ともいわれるほど重要なのが、正確な水深計測です。たとえ施工面積が数万㎡にもおよぶ大規模工事であっても、許容される施工誤差がわずか20cmという現場もあります。大型重機を装備した浚渫船を用いる浚渫工事自体は、見た目には大掛かりでダイナミックである一方、その裏では緻密な計算と卓越した技術が求められています。





## 必要に迫られて特許技術を開発 全国屈指の砕岩能力を誇る

河川、ダム、海域などで水底の土砂をすくって取り除く浚渫工事ですが、このような工事には必要とされる理由があります。

港湾や河川などでは、水流によって運ばれてきた土砂が少しずつ底に積もっていく動きが絶えず起きています。河川部では、浚渫によって川幅を拓げる、あるいは水深を深くすることで川の流れをスムーズにして、洪水による水害を防ぐ結果につながります。海域においては、浚渫工事によって航路や港湾部の水深を確保することで、座礁等の事故を防止します。また、柔らかい土砂を取り除けば、防波堤等の構造物の沈下を防ぐのに役立ちます。

そのうえ、浚渫によって取り除いた土砂は、空港造成などの埋め立て、漁礁などに再利用できるのです。



増田社長

それほど社会に不可欠な浚渫工事を、私たちは使命を感じながら佐世保の地で始めて、社業の柱として成長させてきたわけですが、あいにく佐世保周辺は、柔らかい土砂の下に固い岩盤もあるという場所が少なくありません。浚渫も効率よく進めるためには、砕岩技術も重要になるといっわけです。

そこで、必要に迫られた当社では、従来品とは異なる道具を開発しました。岩盤へ打ち込んで砕く砕岩棒の刃先を従来のものより鋭角にすると同時に、より平らな形に変えて、岩盤へ奥深く食い込んで大きく割れるよう改良しました。性能を向上させたことで、打ち込み時の振動を抑えつつ水の濁りも少なくなりました。これは当社の誇る特許技術となっています。

特許技術ではまだあります。水底から土砂をすくい上げるためのバケット（土砂などを掴み上げる部分）は、汚泥や有害物質の除去にも使われるため、密閉性が必要なのですが、水中へ沈めると浮力が働いて目標へうまく着地できない場合があります。当社では、独自の空気抜き機能をもたせて、密閉性を確保しつつ空気抜きや水抜きができるバケットを開発しました。

こうした技術開発と数々の施工実績が評価されて、現在では県外からも声をかけていただくようになり、日本全国に活動の場を拓けていきます。



現場で培われた  
高度な技術と経験で  
日本の海洋土木を  
支える存在に。

11 9



7

8

1. 対談風景
2. 浚渫船「第22福丸」を見学
3. 巨大な工用ブイ
4. 巨大なバケット
5. クレーンの操縦席
6. 巨大な砕岩棒
7. 特許技術の密閉式バケット
8. 特許技術の砕岩棒
9. 佐世保港三浦岸壁の改修工事（ジャケット製作）
10. 東日本大震災後の復旧工事
11. 企業メッセージ





本社前。前列左から片山管理部長、増田<sup>ししかず</sup>専務、増田貴光社長、山川頭取、谷口佐世保本店営業部長（十八親和銀行）、岩崎佐世保本部長（十八親和銀行）

## 高度な独自技術を活かして 震災後の港湾復旧に寄与

これまでの県外での活動でとくに印象に残っているのは、東日本大震災後の復旧工事です。被災した港湾部再建のため九州の建設会社としては1番初めに青森県の八戸漁港に向かいました。当社の岩盤破碎技術が買われて、いち早く現地からの要請があつたためです。

その後も、岩手県釜石港のギネス登録されていたスーパード防波堤撤去工事や田老漁港<sup>たろう</sup>、只出漁港<sup>ただい</sup>、長部漁港<sup>ながべ</sup>、宮城県石巻工業港<sup>いしな</sup>、女川漁港<sup>めづがわ</sup>、福島県の相馬港<sup>そうま</sup>と、震災が発生した2011年から2014年まで復旧工事は続きました。

当社では砕岩・浚渫工事<sup>しゅんせつ</sup>で、佐世保港を始め、神戸港や羽田空港D滑走路などの工事にも従事してきた経緯があり、日本各地へ赴いてさまざまな工事に携わりながら鍛えてきた機動力を震災復興にも役立てられたのではないかと思います。

私が父から社長を引き継いだのは2012年で、ちょうど震災復興のための工事に従事して東北各県へ赴き続けている時期でした。佐世保で生まれ育ち、広島の土木工事で5年間勤務した経験をもとに、当社に入社して営業課長を務めていた矢先、先代社長の健康上の理由から社長に就任する運びとなりました。営業課長から一気に社長へ、最初は苦勞もありましたが、



入社以来長く作業船で勤務して身に付けた現場感覚は、社業と業界を深く広く知ることができていたことが、経営の舵をしっかりと切れる原動力になったと実感しています。

## SDGs達成のための積極的な取り組み

当社では、31隻にのぼる保有船と特許技術を活かした浚渫工事以外にも、港湾土木、陸上土木を手がけており、さまざまな実績を積み上げてまいりました。たとえば、佐世保港の岸壁改修工事や長崎北地区広域漁場の整備工事、佐世保工業団地の造成工事、佐世保駅周辺や主要地方道の道路改良工事から市役所前広場整備、歩道橋整備、小学校校舎の解体工事といったまで、多くの方々の暮らしに関わる施設や建造物の整備に関わっています。

また当社は、国土交通省による「みなとSDGsパートナー登録制度」に登録されている企業でもあります。この制度は港湾事業者を対象としたSDGs達成への取り組みを支援する制度で、港湾事業者としての社会的使命を果たしていくとともに持続可能な社会の実現に貢献すべく活動を進めています。

たとえば、カーボンニュートラルの観点からCO<sub>2</sub>の排出量を抑えるために作業船のエンジン

や補助発電機の運転時間を短くする操業スタイルに切り替えたり、錆びやすい鉄製のボラード（船を繫留するために岸壁に設置する杭）の表面をステンレス製に切り替えて接触するロープの摩耗や劣化を防いだり、社屋にソーラーパネルを設置して太陽光発電で必要な電力をまかなう、といった取り組みをおこなっています。

さらには、土砂処分施設の増設などに関して、港湾事業の現場で上がる声をしかるべき行政機関に届ける提言活動にも力を入れ、実現しています。

## 未来のために今できる全力を

当社が掲げているスローガンは「未来のために今できる全力を」。先に挙げた「みなとSDGsパートナー」としての活動もその一環と言えますが、私たちは地域社会の一員として、次世代を担う人たちのためにできることを常に考えています。

長崎県は海岸線延長が4,203kmと、北海道に次ぐ全国2位であり、さまざまな海洋資源が豊富で、潜在的な可能性をまだまだ多く秘めています。それゆえ、洋上風力発電や潮流発電といった再生可能エネルギーの導入ポテンシャルが高いとも言われています。

地域の未来を見据えて、社業を通じた人材育成、地域社会との連携による相互扶助の仕組みづくりにも力を注いでいく所存です。

## ■ インタビューを終えて

十八親和銀行 取締役頭取 山川 信彦

日本の高度経済成長期直後に佐世保で創業され、佐世保港を拠点に、全国の港や河川等の浚渫工事等に携わられています。さらには建設分野にも軸足を移して、県内外で施工実績を積み重ねて、創業50周年を迎えられました。

砕岩と浚渫の特許技術によって高い評価を獲得した結果、現在では日本全国を舞台に活動を展開されています。東日本大震災後の復旧工事においても多大な貢献をされておられますが、次なる50年、100年企業を見据えて、ますます発展されることを願っています。



Topics of the month

## 福岡県産酒の海外販路 拡大イベントの実施(🇭🇰 香港編)

福岡銀行は、福岡県が実施する「令和4年度福岡県産酒海外販路拡大事業」を受託し、中国・上海と香港において福岡県産酒のプロモーションイベントを実施しました。2・3月合併号では上海のイベントについてご紹介しましたが、本号では、令和4年12月と令和5年1月、3月に実施した香港のイベントの概要をご紹介します。

福岡県産酒の知名度アップと海外販路の獲得・輸出拡大を目的とした上海での3つのイベントに引き続き、香港においても①オンライン酒蔵ツアー ②インターナショナル・ワイン&スピリッツ・フェア ③インターナショナル・ワイン&スピリッツ・フェアに係るバイヤー招へい」に、福岡県内の蔵元7社がご参加いただきました。

### オンライン酒蔵ツアー

(令和4年12月5日)

香港の繁華街にある日系和食店に現地のバイヤーや飲食店関係者を招き、福岡県産酒の販路拡大に向けたプロモーションを行いました。

360度カメラで撮影した酒蔵の映像(中国語の字幕付き)を視聴していただいた後に香港と福岡をオンラインでつなぎ、蔵元が作り手としての想いやお酒の特



司会をする香港駐在員事務所 稲雷所長



香港から日本の蔵元担当者へ質問する様子



オンライン酒蔵ツアー動画



## インターナショナル・ワイン&スピリッツ・フェア

開催日時	2023年1月10日（火）～11日（水） 11時00分～19時30分（現地時間）
場所	香港コンベンションエキシビジョンセンター
主催者	香港貿易発展局
概要	酒類・食品 商談会
展示分野	酒類、ワイン、ブランデー、スパークリングワイン、ウイスキー、カクテル、テキーラ、米酒、スピリッツ、ビール 日本酒、シャンパン酒類全般

長を招待客に伝えました。  
招待客からは「普段入れない場所や酒蔵内部の様子を見ることが、商品が完成するまでのストーリーを知ることができたので香港のお客様にも紹介しやすい」といった声が多く寄せられ、満足度の高いイベントとなりました。

## （令和5年1月10日～11日） インターナショナル・ワイン &スピリッツ・フェア

フェアは世界30カ国・地域から、1,000社超が出展するアジア最大規模のワイン・酒類の展示会ですが、福岡県ブースとして出展し、世界各国の酒類バイヤーや飲食店関係者といった来場者に向けて蔵元のプロモーションや試飲会を行い、商談につなげました。

今回、アライアンス企業のご協力をいただき福岡の日本酒等をプロモーションする特別番組を制作し、展示会が開催される直前に香港の地上波で放映していたこともあり、福岡県ブースは期間中多くの来場者で賑わい、2日間の展示会を通して各社50件を超える商談が実施されました。

商談の結果、香港企業との新規取引にも複数件つながったことに加え、福岡県ブースには日本のみならず香港の現地メディアからも多くの取材が入り福岡県産酒自体のプロモーションとしても非常に効果的なものとなりました。



インターナショナル・ワイン&スピリッツ・フェアでの商談



取材陣で混雑する福岡県ブース



商品PRの様子

## インターナショナル・ワイン &スピリッツ・フェアに係る バイヤー招へい

(令和5年3月15日～17日)

インターナショナル・ワイン&スピリッツ・フェアに参加した蔵元を、実際に訪問する見学ツアーを開催し、香港から多くの酒類バイヤーや飲食店関係者を日本に招へいしました。2泊3日の行程において1日目と2日目に蔵元訪問を行い、最終日には訪問した蔵元との商談会を行いました。

今回招へいした酒類バイヤー、飲食店関係者は香港で既に多くの日本酒を取り扱っているなど、日本酒に詳しいだけでなく、今回のツアーで新たな仕入を検討している本気度の高いバイヤーであることから、蔵元訪問時には専門的な質問が多く、「商品のデザインや味だけでなく製造現場や保管方法、実際に取引をした際の商

品の流れをイメージすることができた」といったコメントを多くいただきました。

最終日の商談会では、香港で流通していない商品の詳細や物流の説明を蔵元からいただいたことから、実際に取引につながった商談もありました。

## 香港でのイベントを通して

香港でのオンライン酒蔵ツアーや展示会への参加を通して、香港における日本酒への関心の高さを確認することができました。

コロナ禍でリアルな商談会や現地視察は近年見送られていますが、今回福岡で実施し、取引につながるサポートが出来たことで、製造現場や商品を見ながら売り手・買い手双方が互いの熱量を感じるというリアル商談のメリットや必要性も再確認することとなりました。



酒蔵ツアーの様子



香港バイヤーとの商談



酒蔵ツアーの様子



## 福岡銀行が実施した

### 一連の事業の紹介

福岡銀行では、海外進出のお手伝いをする一環として、自治体等が公募する海外販路拡大事業において、物流、イベント、ブランディングなどの各分野で国内外の様々な企業様と連携し、お客さまの海外販路拡大をご支援する企画を立案し、運営まで実施しています。

各種イベントでは上海や香港に初進出の商品や各社独自の製法で作られている商品に対して多くのバイヤーから引き合いが来ておりました。

また、パンフレットや商談の場には出していない季節限定商品でバイヤーの興味を引いて主力商品の成約に繋げていくというアプローチも効果的でした。

今回の一連の事業では、酒の輸送においては地元物流企業と、オンライン酒蔵ツアー実施にお

いては国内外のイベント企業と、各蔵元のプロモーション動画制作においては地元動画制作企業といった銀行のネットワークを活用し、企画立案からイベント運営まで実施しました。

現在、ふくおかフィナンシャルグループには海外に8カ所駐在員事

務所を保有し、それぞれの海外駐在員事務所では様々なネットワークを構築しております。今回は自治体と連携した海外販路開拓の事例でしたが、個々のお客さまのニーズに応じた進出・販路開拓のサポートも行っております。併せて海外進出の企業様の負担

を軽減するために各種補助金等を活用した進出支援も積極的に取り組んでいます。

ふくおかフィナンシャルグループでは国内の取引店と海外駐在員事務所が連携して、引き続き積極的にサポートをしております。

### アライアンス図



### 福岡銀行の海外ネットワーク



Topics of the month

# 熊本県嘉島町と熊本銀行が 包括連携協定を締結しました！

本年3月17日(金)、熊本県嘉島町は熊本銀行と包括連携協定を締結しました。



署名した協定書とともに(左から嘉島町荒木泰臣町長、野村頭取)

2021年11月、熊本県は台湾の半導体受託製造大手TSMCの進出が決定し、国内のみならず国外からも注目を集めました。それ以降、県内には、半導体関連企業だけでなく、物流、人材派遣会社などの企業進出も公表されています。すでに進出している企業の工場増設なども発表され、TSMC進出の影響の大きさを物語っています。

インフラ面では、空の玄関口となる阿蘇くまもと空港の新旅客ターミナルが3月にオープン。今後、国内外からの来訪が

見込まれています。

嘉島町は国土交通省により水の郷百選に選定されるほど、豊富な湧水を有しており、自然豊かな町です。

荒木泰臣町長は、「活力とうるおいに満ちた田園文化都市」に住んでよかった！水の郷「嘉島」を基本理念とした、自然の豊かさや都市的機能の調和したまちづくりを目指し、さまざまな施策に取り組まれています。荒木町長のもとで町の総人口は着実に増加しており、昨年には人口1万人を突破するなど、全国的に人口減少が進む中、人口増加率は県内トップクラスを実現されています。今後も、企業団地「嘉島みらい工業団地」や、新たな街並み「ゆうすいの杜」の造成工事など、企業誘致や住宅地整備をさらに進められ、活力と魅力にあふれるまちづくりを目指されています。



署名を終え挨拶をされる荒木町長



協定書に押印する荒木町長と野村頭取

今回の包括連携協定は、嘉島町が進める施策に熊本銀行が連携・協力するために締結したものです。

金融的な機能にとどまらず、FFGが持つあらゆる機能を活用し、まちづくり、企業誘致、地域振興、事業承継支援、デジタル化支援など、嘉島町の施策実現への全面的なサポートを行ってまいります。



# 為替セミナー

## 「植田新総裁下の日銀と円相場ならびにグローバル市場・経済見通し」

国際金融市場の第一線で活躍する為替アナリストによるセミナーです。  
日銀新体制下での外国為替相場の見通しや世界経済の展望を詳しくお伝えします。

開催日時	2023年7月28日(金) 15:00 ~ 17:00 (受付14:30~)	
開催形態	<p>〈会場・オンライン同時開催〉</p> <p>①会場:福岡銀行本店4階セミナールーム(福岡市中央区天神2-13-1) ※受付は14:30より開始いたします。駐車場のご用意はございません。 近隣の駐車場または公共交通機関をご利用ください。</p> <p>②オンライン:Zoom配信 ※パソコンやタブレット、スマホがあれば、職場やご自宅にてお気軽にご参加いただけます。 ご視聴にかかる通信料は、お客さまのご負担となります。</p>	
内容	<p><b>テーマ</b> 植田新総裁下の日銀と円相場ならびにグローバル市場・経済見通し</p> <p>テレビ東京「ニュースモーニングサテライト」でもおなじみの為替アナリストである佐々木氏が講演します。 日銀新体制下での外国為替相場の見通しや世界経済の展望を詳しくお伝えします。</p> <p><b>講師</b> JPモルガン・チェース銀行 東京支店 市場調査本部長 マネジング・ディレクター <b>佐々木 融氏</b></p> <p>【ご略歴】 1992年 : 日本銀行入行 1994年 : 同行国際局為替課で市場調査分析、為替介入担当 2000年 : 同行NY事務所外国為替市場を含めた、米国金融市場全般の情報収集・調査・分析担当 2003年 : JP モルガン・チェース銀行チーフFXストラテジスト 2009年 : 同行債券為替調査部長 2010年 : 同行マネジング・ディレクター 2015年~ : 現職 日経ヴェリタス為替アナリストランキング2016年及び2018~2021年4年連続1位</p> 	
参加費	無料	
主催	ふくおかフィナンシャルグループ・福岡銀行・熊本銀行・十八親和銀行・FFG証券	
定員	①【会場】先着50名 ②【オンライン】先着150名 ※申込時に参加形態をご選択ください。それぞれ定員になり次第、締め切らせていただきます。	
申込締切	2023年7月24日(月)	

参加をご希望のお客さまは、下記URLもしくはQRコードからお申し込みください。

<https://www.fukuokabank.co.jp/forms/pc/kawase202307>

お申込み・お問い合わせ先

ふくおかフィナンシャルグループ 営業統括部 海外戦略企画グループ  
(福岡銀行グローバルソリューション部)

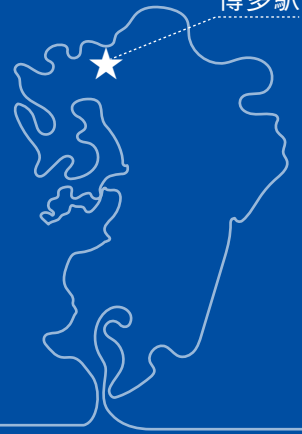
〒810-8693 福岡市中央区大手門1-8-3

TEL.092-723-2515 担当:山下・倉富 (平日 9:00~17:00 但し銀行休業日は除きます)

申込コード



博多駅



# 地域とつながる FFG連携プロジェクト

私たちFFGは、「地域と共に未来を創っていくこと」をスローガンに、観光・農業・雇用・産業・健康・教育など様々な分野での地方創生に取り組んでいます。今回は、地域の事業者と連携した取組みについてご紹介いたします。

## お酒のおともはエンニチで！九州酒蔵びらきにエンニチ人気銘柄が出店！



多くの人で賑わうイベント会場

2023年3月24日から29日にかけて、九州の美味しいお酒を醸造する選りすぐりの蔵元を一堂に集めた「九州酒蔵びらき2023（以下、本イベント）」が、地下鉄七隈線開業のタイミングに合わせて株式会社JR博多シティ主催のもと博多駅前広場で開催されました。

本イベントは、人が集い、新しい繋がりが生まれることで、冬が終わり博多の春の訪れを告げる風物詩となることを目指したもので、コロナ禍の影響もあり2019年以来4年振りのリアル開催となりました。

本イベントにおいて、株式会社三広さんこうとFFG（iBankマーケティング、福岡銀行地域共創部）

が連携し、ブース出店および「wall+」内で2週間にわたるイベントのプロモーションを行いました。物販ブースでは、iBankマーケティングが運営する地域共創型オンラインストア「エンニチ」の出店事業者である株式会社丸昇水産まるのしょうすいさん（以下、丸昇水産）および株式会社ヒイズル（以下、ヒイズル）による飲食の販売を実施しました。また、「エンニチ」においては、イベント期間中限定価格でエビフライやコロッケを販売し、リアル・オンラインのハイブリッドで販路拡大支援を行いました。

丸昇水産は、長崎県杵岐市の水産加工販売業者で、販売する商品は先代から継承された秘伝の味付けと追究された製法で、工程に時間をかけるこ





とを惜しまず、全て手作業で丁寧に加工することで品質にこだわっています。

ヒイズルは、福岡県飯塚市で福岡県最古のブランド牛「筑穂牛」を取り扱うミシユラン一つ星獲得の名店「あかね荘」を経営する飲食事業者です。

物販ブースには各社3日ずつ出店いただき、丸昇水産はエビフライやマグロフライ、ヒイズルはコロッケやウインナーを販売しました。両社からは「顧客の生の声を多く聴くことができ参考になった」、「自社商品をPRする貴重な場であった」との声をいただくとともに、各社2,000個以上販売するなど売上アップにも寄与する取組みとなりました。

今後も地域共創部では、FFGの地域総合商社機能を活用しながら、お取引先の販路開拓・プロモーション支援をはじめとする本業支援を通じて、地域の課題解決・活性化につながる取組を推進してまいります。



**エンニチ**  
en-nichi

エンニチ  
WEBサイトはこちら



あかね荘ブース



丸昇水産ブース

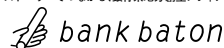


(左から) 地域共創部 瓜生  
iBankマーケティング 今川  
【お問い合わせ】TEL (092) 723-2254

FFGは地域が抱える課題解決や  
地域経済の活性化に取り組んでいます

FFG地方創生の  
取組事例はこちら

ストーリーでつながる、銀行系地方創生メディア



地方創生に関するお悩みをご相談ください

- 観光振興
- まちづくり
- 産業振興
- エネルギー
- 教育文化芸術
- ヘルスケア

ふくおかフィナンシャルグループ  
営業統括部 地方創生推進グループ  
【お問い合わせ】TEL (092) 723-2254

# サステナブルスケール× ヤママップ×九州大学による 共同記者会見を開催しました!

2023年4月の  
記事はこちら



サステナブルスケール平田社長(福岡銀行常務執行役員)



左から平田社長、YAMAP春山社長、九州大学都市研究センター馬奈木センター長

FFG傘下のサステナブルスケールは2023年4月19日、ワーキング・イベントスペース「TITAP」において、国内トップシエアの登山者向けアプリを提供するヤママップ、九州大学都市研究センターと共同で記者会見を行い、協業プロジェクト「人と自然のウェルビーイングラボ〜人と自然がともに健康になる世界へ〜」の研究成果を発表しました。

今回のプロジェクトは、サステナブルスケールにおける「企業のサステナビリティ(非財務)活動」評価(インパクト評価)プロジェクトの第一弾となります。

2022年4月に九州大学都市研究センター(主幹:馬奈木俊介センター長)とプロジェクトチームを組成、九州大学都市研究セン

ターは主に学術論文と先行研究の調査および評価・分析実務を担当、サステナブルスケールはプロジェクトマネージャーとして全体運営のマネジメントとともに、評価書の作成を担いました。

評価スコープとして、自然にフォーカスした「自然資本分析」、人の健康にフォーカスした「人的資本分析」の2軸とし、それぞれの社会的インパクトを可視化することで、登山の自然と健康への影響を評価しました。

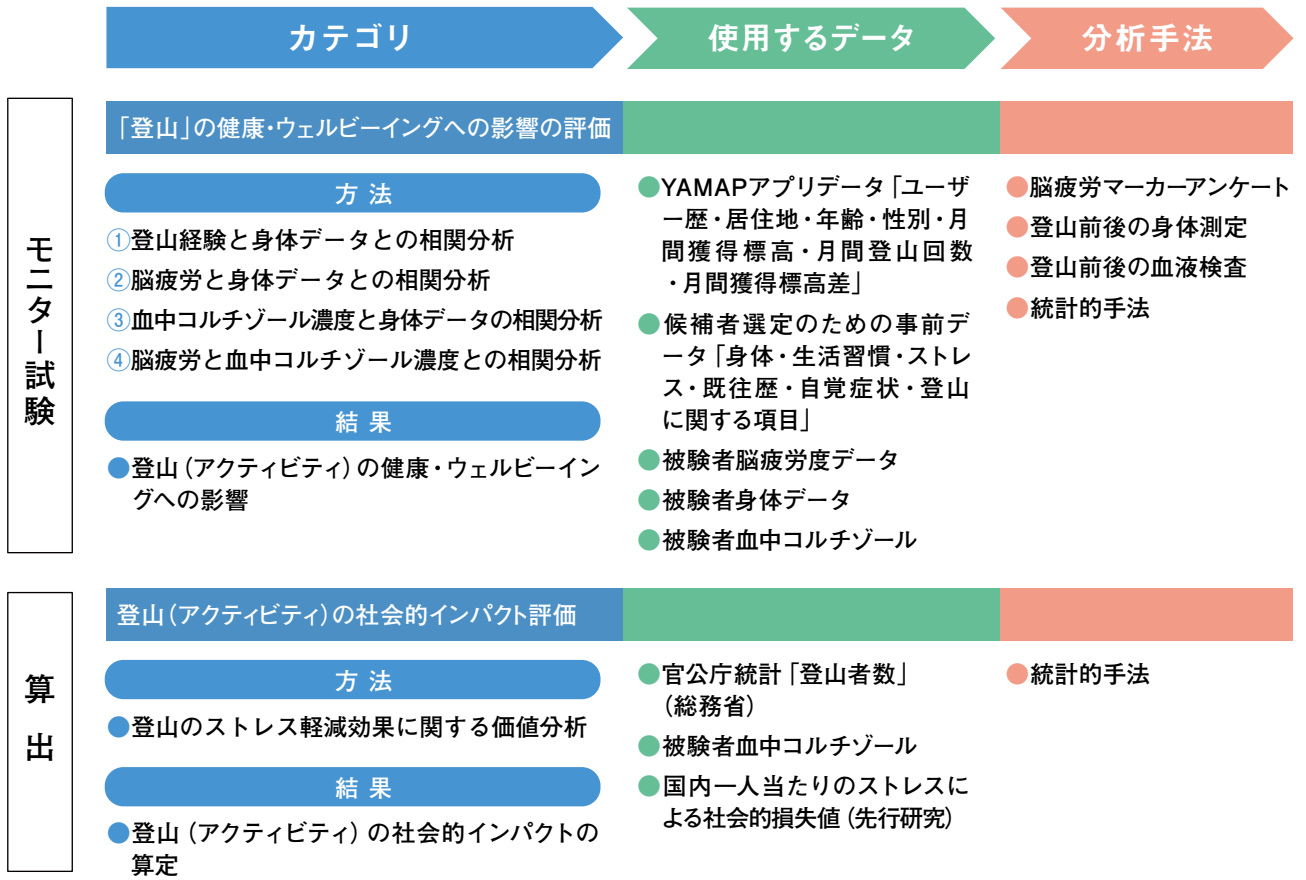
「自然資本分析」については、登山者人口の推移とヤママップの取り組みとの因果関係を分析し、登山者人口の増加または維持に対するヤママップの貢献度を検証しました。またヤママップの植林・山道整備といった取り組みについて、

自然環境に対する社会的インパクトの算出を図りました。

「人的資本分析」については、登山アプリ「YAMAP」ユーザー他計46名による登山実証実験を2度にわたって行い、登山前後の生体データを取得、既存の学術論文やデータをも



# 人的資本分析における研究デザイン



とに、登山の「健康・ウェルビーイング」に対する影響や効果を医学的エビデンスに基づき分析・検証しました。

登山実証実験の参加者を「登山者群」、「非登山者群」に分け、普段の登山が及ぼす健康効果を測定したところ、「脳疲労」の低いグループには登山者群が多い傾向があり、普段からのエクササイズや運動ではとれない脳疲労を、標高500m以上の山で月1回以上の登山習慣が解消する可能性を示しました。

更に、参加者から採取した血中コルチゾールの分布から年間経済効果を概算した結果、1人あたりのインパクト価値(＝経済効果・ポテンシャル)は年間約6万円と算定されました。2021年の日本全体での登山者数は8,614千人であることから、日本における登山のインパクト価値には、年間約5,167億円の効果があると結論付けました。

今後もサステナブルスケールは、SDGs評価における新しいものさしにより、地域企業の様々な非財務データを測ることを通じて、「持続可能な世界が実現すること」「持続可能な未来を創っていくこと」を目指してまいります。



# 中国における若年層の就業について

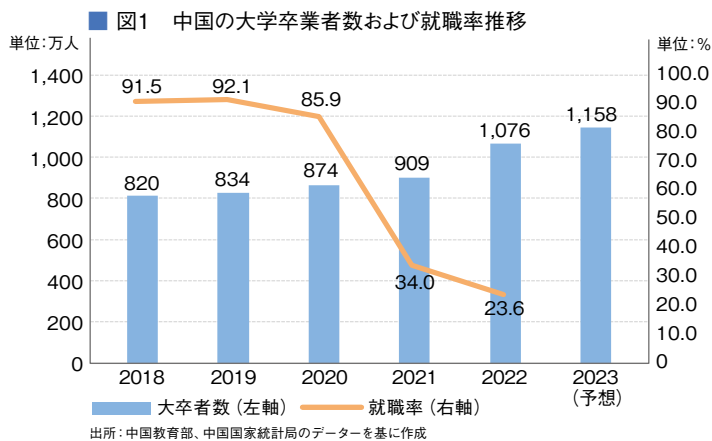
## はじめに

2022年12月に中国政府より、ゼロコロナ政策の撤廃が発表され、これまで厳しかった都市間移動に制限がなくなったことで人々は日常生活を取り戻し、仕事、学校、スポーツなど社会活動の正常化に向けて急激に動き出しました。コロナ禍の3年間は企業のみならず大卒者など若年層の就業にも大きな影響が出ており、中国経済の回復にとって早急に取り組まなければならない重要な課題となっております。

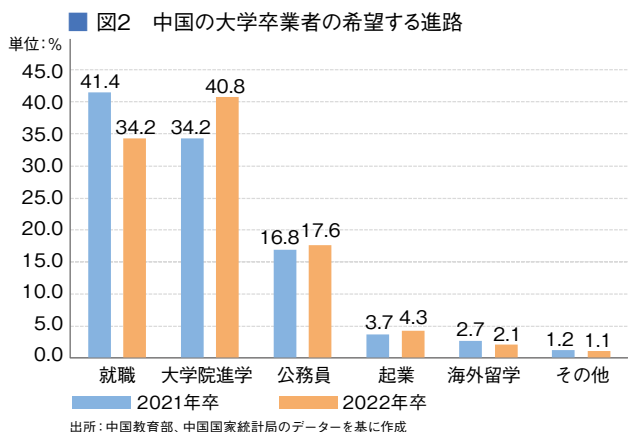
## 大学卒業生数および卒業後の進路について

中国教育部の発表によると中国の大卒者数は年々増加の一途をたどり、2022年には初めて1,000万人を突破し、1,076万人となりました。一方、コロナや世界情勢の変化の影響で中国景気が減速した

ことにより、多くの企業は採用を大幅に抑制し大卒者の就職率は23・6%と非常に厳しい就業環境となりました(図1)。2022年の大卒者が希望する進路の内訳は「就職」が34・2%(前年比▲7・2%)と減少した反面、「大学院進学」は40・8%(前年比+6・6%)と増加しており、厳しい受験競争を突破しても希望の企業や職種に就くには



ハードルが高いと考え、就職の先送り希望する大卒者が増加していることがわかります(図2)。就職や進学が出来ない大卒者の中には、フレキシブルワーク(注)と呼ばれるアルバイトに近い就業形態を選択せざるを得ないケースも増えているようです。  
(注) EC販売、オンライン配車、ネットデリバリーサービス等に従事し、自分で時間を調整できる就業形態







■ 図3 2022年アジアの国・地域別日本語能力試験1級受験者数

順位	国・地域	受験者数
1	中国	22,496
2	韓国	10,534
3	台湾	8,406
4	ベトナム	3,386
5	香港	1,005
6	タイ	962
7	インドネシア	293
8	ミャンマー	235
9	マレーシア	205
10	シンガポール	148

出所:国際交流基金、日本国際教育支援協会HPを基に作成  
 ※1 2022年は新型コロナウイルスの影響で年1回のみの開催(通常は年2回)。  
 ※2 セロコナ政策の影響で中国国内一部の地域(上海・大連など)では試験未実施。

若年層の就職に対する思考  
 および日本での就職について

コロナ禍を経てライフスタイルや様々な環境が変化し、若年層の就職に対する考え方にも大きな変化が見られます。日本貿易振興機構(JETRO)が提携する人材会社の調査では、コロナ前は実力主義で入社後の給与水準が高いことを重視する傾向が強かったのに対し、コロナ後は給与水準よりも雇用の安定性を重視する傾向へ移り変わってきてい

るようです。中国は日本との距離が近く、親戚や知人など身近に日本で仕事や生活をしている人が多いことから、アジアの中では日本語を勉強する学生も多く(図3)、特に親日度の高い大連近郊においては、近年語学に加え、IT技術やマーケティングなどを併せて専攻できるコースに入学する学生も存在します(図4)。日本での就職を目指す学生専門の人材会社では、中国人学生に対して就職前にインタビューや長期研修を通してビジネスマナーやPC操作など仕事に活用できる技能の習得を支援し、就職後も一定期間仕事や生活のサポートをすることで採用時のミスマッチをなくすよう取り組んでいるとのこと。

**最後に**

日本では多くの業界で人手不足が深刻化している一方で、中国にはIT技術等の様々な専門分

■ 図4 大連近郊における複合コースを設置する大学の一例

省	市	大学名	在校生数	コース内容
遼寧	大連	大連理工大学	562	ソフトウェアまたはデジタルメディア技術+日本語
			142	金属加工+日本語
			298	機械設計+日本語
		大連海事大学	394	ソフトウェア技術+日本語
			大連外国語大学	945
		813		ソフトウェア技術+日本語、英語
		266		ネットワーク技術+日本語、英語
		1,712		情報管理、情報システム+日本語、英語
		278		財務管理(簿記)+日本語
			観光+日本語	
			マーケティング+日本語	
			経済学+日本語	
		大連交通大学	653	ソフトウェア開発+日本語
			大連東軟信息学院	902
		大連科技学院	337	アウトソーシング+会計+日本語

出所:日本貿易振興機構(JETRO)HPを基に作成 ※在校生数は2021年3月時点。

野を勉強し、尚且つ日本語も堪能な大卒者が一定数存在していることから、中国の優秀な若者の採用について検討することが課題解決に繋がる方法の1つと言えるかもしれません。FFGでは海外人材に関する様々なご相

談も承っておりますので、ご興味がある方はお気軽に最寄りの店舗へお問い合わせ下さい。

2023年4月19日現在  
 (大連駐在員事務所  
 所長 益野裕至)

vol.26

# START UP Company

今月の注目スタートアップ

ここで紹介するスタートアップ企業は、ふくおかフィナンシャルグループの投資会社 FFGベンチャービジネスパートナーズが運営するベンチャーファンドが投資しています。

## ABCash Technologies

エービーキャッシュ テクノロジーズ  
私たち株式会社ABCash Technologiesがサービスを通して実現したいMissionは「お金の不安に終止符を打つ」ことです。創業からこの課題と向き合い、オンライン+都内7ヶ所で“10年後なりたい自分をお金で諦めない”をコンセプトに、マンツーマンの『お金のトレーニングスタジオ ABCash』を運営しています。

### #本気でお金を貯めるならABCash

#### ABCash

お金のトレーニングスタジオ

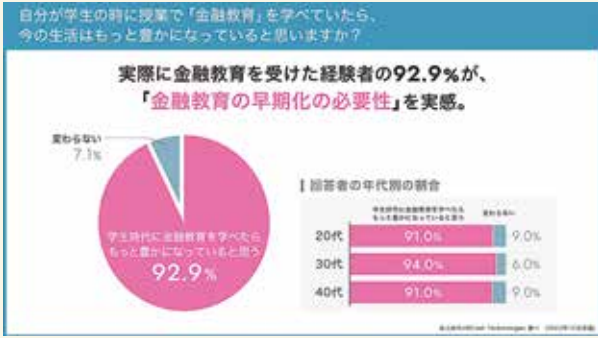
「お金の学習データ」をベースに、  
パーソナル講師が1人1人に合わせて  
トレーニングメニューを提案し、  
家計管理～資産形成に必要な  
金融リテラシー習得を  
マンツーマンで伴走サポートする  
個人向け金融教育サービスです。





## なぜ、「金融教育」なのか

グローバルな視点からみて金融教育の遅れている日本では、私たちに限らず、多くの人々がお金について学ぶ機会のないまま社会に放り出されています。少子高齢化や老後2,000万円問題など、お金に関する様々な問題や不安、疑問はたくさんあるのに、誰に相談したらいいのかわからないという状態です。特に、日本人はお金の話題を嫌う傾向が強く、「お金の話題は汚らしい」と思われるところがあり、会社の上司や同僚、友達にお金の話をしにくいものです。



そんな中、2022年4月、高校学習指導要領の改訂で金融教育の内容が拡充され、投資や資産形成まで踏み込んだ金融経済教育が必修となりました。また、当社が行ったお金に関する意識調査（お金に関する意識調査2023）では、20代、30代、40代のいずれも約90%以上が学生の時に授業で金融教育が学べたいたら、今の

生活は「もっと豊かになっている」と回答しています。このように金融教育の早期化の必要性が明らかとなつてきています。

テクノロジーの発展によってデジタル化が進んでいる今、情報格差で苦しまないために、生き残る限り続く「お金に対する不安」に着目し、金融教育サービスを創出しました。

## お金のトレーニング「ABCash」

ABCashは「お金の学習データ」をベースに講師が1人1人に合わせてトレーニングメニューを提案し、家計管理・資産形成に必要な金融リテラシーの習得をマンツーマンで伴走サポートする個人向け金融教育サービスです。

主なサービス内容は3種類。コンサルタントと1対1で60分のオンライントレーニングを行う「パーソナルトレーニング」、60日間チャットで支出版報告や相談ができる「デイリートレーニング」、その分野の専門コンサルタントと学ぶハイレベルなトレーニング「スペシャリストトレーニング」です。

そして、弊社では法人向けに「ABCash for Business」というサービスを展開しています。マネーリテラシーを高めることで「従業員の満足度向上」や「生産性向上」などを実現していきます。

共通の特徴は「中立的」であるということです。中立的な立場からのサービス提供を守るた

め、特定の金融商品の販売・勧誘は一切行いません。自分の力で生き抜けるよう、公正で正しいお金の知識を提供しています。

## これからの「ABCash」の目指す社会

私たちが実現したい社会は、お金の情報の非対称性がなくなり、知らずに損をする人がいなくなることや、「お金のスキルは人生の武器になる」ということを知り、誰もが自分らしい人生を選択できる社会です。

日本がそんな新しい価値観の社会に変わり、お金に振り回されることなく人生の目的地に辿り着きつかけとされるよう、ABCashは挑戦し続けます。



会社概要

### 株式会社ABCash Technologies

代表取締役社長 児玉隆洋

所在地 東京都渋谷区道玄坂1-12-1  
渋谷マークシティウエスト15F

メールアドレス cs@abcash.co.jp

会社HP https://company.abcash.co.jp/

サービスHP https://www.abcash.co.jp/

会社HP



サービスHP



FFG行員が紹介する  
イベント参加  
の  
すゝめ

# 福岡県アトツギ（家業後継者） 支援プログラム「ISSIN」のご案内

福岡県では、地域の暮らしを支える地元中小企業の新商品開発支援に取り組んでいます。

今回は福岡県が2023年6月から募集を開始するアトツギ支援プログラム「ISSIN」をご紹介します。



2022年6月、中小企業庁は「アトツギ支援ネットワーク」の開設を表明しました。近年、企業の課題として語られることも多い「後継ぎ」を、新規事業創出や業態転換など家業の高度化に挑む「アトツギ」に進化させ、事業承継への意欲を高める動きが広がっており、地域に根付いた企業の支援（アトツギ支援）こそが地域再生に直結するとの認識が地方自治体や地域金融機関に芽生えています。

福岡県では、2021年7月からアトツギ支援に特化したプログラム「ISSIN」を実施しています。本プログラムでは、福岡県内に本社（本店）を置く中小企業のアトツギを対象に、家業の強みや経営資源を活かした新商品開発を支援します。プログラムに採択されたアトツギは、毎月開催されるワークショップに参加し、外部講師や専門家の力を借りながら、家業の強みや経営資源の棚卸し、それらを活かした新商品のアイデア出し、新商品のコンセプト検討等を行います。プログラム

を通して各社が開発した新商品は、応援購入型クラウドファンディングサイト「Makuaake」にて発表、販売します。

2021年度には10社、2022年度には8社のアトツギが本プログラムに参加し、これまでに16社のアトツギが新商品開発、Makuaakeへの新商品掲載を行いました（※うち15社がMakuaake目標金額達成）。応援購入総額200万円を超え、約250名に応援購入された企業や、新商品開発により自社の強みがPRでき、既存事業の販路開拓に繋がった企業もあり、新商品開発のノウハウ獲得だけでなく、新たな顧客・ファンの獲得にも繋がっています。

同世代のアトツギと一緒にワークショップに参加し、新商品開発に必要なノウハウを獲得したい方、家業の強みや経営資源を最大限に活かした新商品開発に挑戦したい方は、この機会に福岡県のアトツギ支援プログラム「ISSIN」に是非エントリーしてください。



紹介行員

福岡銀行地域共創部  
本石 善和



前回参加者の集合写真





# アツギ(家業後継者)の方向けに、 それぞれのゴール目標達成に向け 徹底したコミットメントと伴走支援を行います。

プログラム期間中の短い期間に新商品の開発と改善を効率的に行うため、次回ワークショップの課題を与え、当日までに仕上げてくる課題制度を取り入れています。2024年2月中旬頃のMakuake出展とポップアップストア出展に向け徹底した伴走支援を実施します。

## 年間スケジュール

2023	
公 募	6月初旬～6月下旬
審査(書類・面談)	7月初旬
採択通知	7月初旬
キックオフイベント	7月中旬
WS 1	ISSIN活用・新規事業について 7月26日
WS 2	アイデア創出のコツ01 8月23日
WS 3	アイデア創出のコツ02 9月20日
WS 4	ブランディング・広報戦略 10月18日
WS 5	CRAFTEDコース 中間デモデイ プロダクトレビュー(百貨店・銀行など) 11月22日
	Makuake出展前ヒアリング 12月初旬
	Makuake用クリエイティブ制作 12月～1月初旬
WS 6	出展に向けた情報発信 12月20日
2024	
WS 7	決 起 会 1月17日
	Makuake出展開始 2月中旬
	百貨店ポップアップストア出展 2月中旬～
	ISSIN THE FINAL 2023-2024 3月初旬

※ WS ……ワークショップ ※掲載のスケジュールは変更の可能性があります。

## 支援メニュー

### 実践的ワークショップ 1

新商品開発に必要なナレッジ講座を全7回のワークショップ形式で開催します。



### 個別相談 2

採択企業1社あたり1名程度事務局から専任の担当者が配員されます。商品のコンセプト相談やアイデアの壁打ち、外部専門家マッチング等、各社の要望に応じて個別に1回1時間程度のメンタリング(相談)を実施します。

※オンラインとリアル開催を併用



### ポップアップストア出展 3

百貨店と連携したポップアップストアの出展を通じ、来場したお客様へ直接説明、こだわりや品質をアピールし商品の認知拡大を図ります。



※rkb提供 / <https://rkb.jp/article/96810/>

### Makuake出展支援 4

Makuakeへの出展に向けて、Makuakeのキュレーターによる値付けやリターン設定、その他の悩みに関するアドバイスを実施します。またMakuakeの出展ページ作成に必要なライティング・写真撮影に関してはISSINで支援します。

### メディア連携 5

県内のメディアマスコミと連携し、県内外への周知支援を行います。制作された番組や記事はプログラム終了後もウェブページ等で公開されるため、実績としても活用が可能です。

#### 昨年度の事例

テレビ局と連携し全8回の特集を番組の1コーナーで放送



### 中間デモデイ・ISSIN THE FINAL 2023-2024 6

ISSINではプログラム中盤と終盤にデモデイを開催します。採択企業各社はそれまでに開発した新商品を集大成と位置付けたISSIN THE FINALで関係者を前にプレゼンを行い、最終報告を行います。


**起業家**
**メンター**
**事務局**
**が一体となり、**

 採択企業のチームに寄り添い、失敗も成功も共感する覚悟で**事業成長にコミット**

 ISSIN  
公式サイト


# 大学生が提供する 社会課題解決の処方箋

今回は熊本県内の大学生らによる、社会課題解決に  
取り組むサークル活動をご紹介します。

近年の学生は、小学校の授業からSDGsや社会課題解決について学びはじめています。そうした学びもあって学生らは社会課題解決に対する意識が早くから芽生え、自身の行動を自由に選択できる大学生にもなると、学生主体で課題解決に繋がる取り組みを始めます。今回は熊本県内の大学生らによる、社会課題解決に取り組む3つのサークル活動をレポートします。

## 球磨焼酎販促サークルTorico

国立大学法人熊本大学では、2021年4月に教養科目「地方創生プロジェクト演習」を開始しました。この演習では「球磨焼酎」をテーマに、2020年7月に発生した熊本県南部の球磨川

とその支流域での大水害からの復興を採り上げました。講義では起業の仕方や地方での事業展開の方法について議論し、若い世代に球磨焼酎に関心をもってもらう方法を学生主体で考えました。1年間で教養科目としての活動は終わったものの、その後も同じメンバーで引き続き活動したいとの思いが学生たちから沸き、2022年4月からは活動をサークル化。Toricoと名付け、

大成として球磨焼酎全27蔵元の焼酎を使ったカクテルレシピを中心に、人吉・球磨地方の文化・観光情報や、地域の方々とのコミュニケーションで得た有益な情報を満載した「球磨焼酎カクテル冊子」をまとめました。

東海大学の学生3名を含め、大学の垣根を超えた活動に進展しています。サークルメンバー総勢20名(取材当時)は、それぞれ販促部門、広報部門、観光部門の3つの部門に分かれて活動しました。Toricoの活動の目的はあくまでも球磨焼酎の魅力を発信して、若い世代に球磨焼酎の虜とりこになってもらうこと。この1年間の活動に対する集



▲サークルの活動資金を得るために販売した球磨焼酎のカクテルをかたどったアクセサリー





▲Toricoの定例活動報告会の様子

## 農家と協力したボランティア サークルD-SEVEN

熊本大学の学生7名によって立ち上げられたボランティアサークルD-SEVEN。2016年に発生した熊本地震の災害復興ボランティア活動を、熊本県北部の菊池市で行った際、同市の中心部から車で10分ほどの位置にある佐野地区が高齢化など多くの問題を抱えていることを知り、それから佐野地区の耕作放棄地の再生や保全活動を行っています。棚田での田植え作業や、栗の木の剪定作業、剪定した枝の処理等、70歳代が占める地元農家さんと協力して耕作放棄地の削減に努めています。サークルメンバー総勢20名(取材当時)が月に2〜3回佐野地区を訪れ、農作業等を行っているほか、佐野地区の方々の交流会や餅つき等のイベントを開催しています。この活動を持続可能なものにするため、収穫した米や栗を返礼品としたクラウドファンディングを実施し、支援金は米袋のデザインなど、主に佐野地区の商品パッケージの開発に活用しています。クラウドファンディングの当初目標額は80万円でしたが、すぐに達成しました。返礼品には特産品



▲地元農家さんとともに汗を流したD-SEVENのメンバー

とともに支援者に向けた季節のお便りを学生が作成して郵送し、佐野地区の魅力を集約した動画や写真はSNSで公開・情報発信するなどして、地域の活性化におおいに貢献しています。



▲栗の枝を剪定したのち癒合材を塗布するD-SEVENのメンバー

## 盲学校用教材開発普及サークル Soleil

ソレイユ

熊本大学工学部の公認サークルであるSoleilの活動は2012年に始まりました。大学の技術職員である須恵耕二すえこうじさんが、全国

の大学から技術系職員が集まった発表会で、全盲の方のための学習機器に関する発表を聞いたことをきっかけに、熊本県立盲学校と共同で音声付き点字ライターを開発・製作し、そこに7名の学生たちが参画したのがはじまり。サークルメンバーは大学院生や理学部の学生も含め20名（取材当時）となり、材料購入が中心の活動資金は、熊本大学が実施する「きらめきユースプロジェクト」に応募。そこで受賞した副賞等によって賄っています。その後も寄贈した教材は全国すべての盲学校に広がり、さまざまなアイデア教材が提供されるようになりました。須恵さんは「開発費の問題さえクリアできれば、教材を受け取る盲学校や生徒さんは喜ぶし、サークルに所属する学生は勉強になり感動も覚えます。さらに開発費を負担していただいた方は社会貢献となります。このプロジェクトを持続可能な活動として今後も続けたい」と話します。サークルの立ち上げから10年が経過し、卒業した学生や活動に理解を示してくれる方に応援いただくためにNPO法人「テクたまご」を設立。昨年Soleilはこれまでの活動が認められ、「くまもとSDGsアワード2022」で表彰されました。



▲工学部棟内のSoleiil部室にて  
左から須恵さん、サークルメンバーの矢竹結稀さん、橋本碧さん

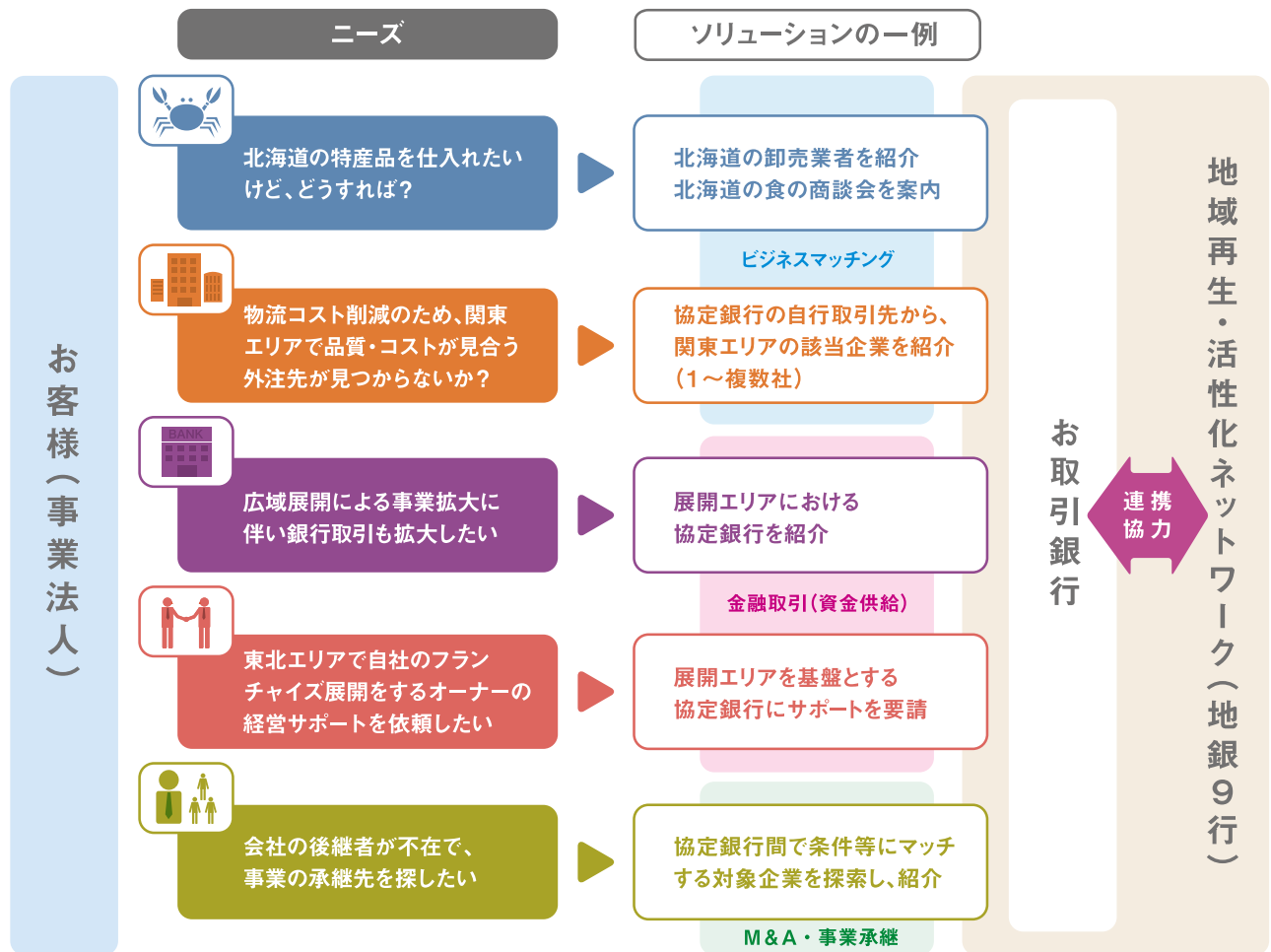


▲教材製作の様子



# 日本全国 県境・地域を越えた 「様々なビジネスニーズ」にお応えします！

このようなビジネスシーンでお困りではありませんか？



## 全国の地銀9行連携 「地域再生・活性化ネットワーク」について

経営基盤・営業エリアが異なる地銀9行が、様々な情報・ネットワークを相互に活用することで、地域経済の再生および活性化を図るために構築した広域連携です。

県境・地域を超えて活躍する(今後検討される)お客さまのビジネスニーズ等に対して、全国の各エリアをカバーする地域金融機関が連携・協力して対応していきます。

- ①複数の地方銀行による資金供給(シンジケートローン・協調融資等)
- ②他エリアの地方銀行のネットワーク情報を活用して、M&Aや事業承継における相手方情報をご提供
- ③ビジネスマッチング業務にかかる他エリアの地方銀行のお取引先等をご紹介します



- 【注意事項】**
- 本ネットワークは、協定書を締結した地方銀行9行の連携・協力に基づき運営されています。ご利用にあたり、お客さまのご要望・ニーズなど、必ずしもご期待にそえない場合がありますのでご了承ください。(個別具体的なソリューションのご提供を確約するものではありません。)
  - 本ネットワークのご利用を希望される場合は、お近くの取引銀行窓口までお気軽にご相談ください。(ご相談は無料です、但し、個別具体的なソリューションのご提供にあたっては、各銀行所定の手数料等がかかる場合があります。)

# GOLF MEGA STAR

ゴルフ界で輝く新星を紹介するコーナーです

vol.7

名門ゴルフ場のクラチャン  
史上初・女子中学生が優勝！

1952年開場の歴史あるゴルフ倶楽部「福岡カンツリー倶楽部 和白コース」。昨年10月、70周年記念「クラブチャンピオンシップ」が開催され、中学3年生(当時)の中間理桜さんが優勝を飾った。1953年から毎年開催している伝統あるクラブ選手権であり、女性でしかも中学生が優勝したのは史上初の快挙。

桜の開花を今か今かと待ちわびる3月下旬。中学を卒業したばかりの中間さんにインタビューした。

尊敬する人はおじいちゃん!



祖父・大松 俊次さん

高校生ゴルファー

## 中間 理桜

### NAKAMA RIO Profile

2007年4月6日生まれ。A型。身長173センチ。福岡市出身・在住。小学1年時、祖父の勧めでゴルフを始める。中学3年時、「福岡カンツリー倶楽部 和白コース」のクラブチャンピオンシップで優勝。西南学院中学校卒、今春から西南学院高等学校1年生。

取材協力 福岡カンツリー倶楽部 和白コース  
住所:福岡市東区大字上和白1318-1 電話:092-606-2931





「福岡カンツリー  
倶楽部 和白コース」クラブ  
チャンピオンシップの  
優勝盾です!



## 中学を卒業したばかり! 祖父が導いたゴルフへの道

中間理桜さんとゴルフの出会いは  
小学1年の頃にさかのぼる。

「おじいちゃんがゴルフセットを買っ  
てくれて、家の横に設置したゴルフ練  
習用ネット(鳥かご)でゴルフを教え  
てくれたんです」

祖父は国内女子プロツアーの観戦  
にも連れて行ってくれた。初めて見る  
女子プロのプレーに圧倒され「プロに  
なってみよう」と幼心に憧れた。  
幼い頃から尊敬するのは祖父。

「おじいちゃんのスイング、とてもき  
れいなんです。自分もあんなスイング  
をしたい!おじいちゃんにはゴルフを  
通じて挨拶や周りの人に感謝する心  
を教えてもらいました」

## 中高一貫教育の西南学院へ コロナ禍で迎えた中学時代

自由で自主性を重んじる校風  
に惹かれ、中高一貫教育の西南学院へ  
進学。

「中学入学直前からコロナ禍にな  
り、入学当初は学業とゴルフを両立  
するために自分に合った大会を慎重  
に選びながら自己管理等に努めるこ  
とに大変苦労しましたが、今は計画  
を立てて楽しくゴルフが出来るよう  
になりました」

小学6年時に全国小学生ゴルフ大  
会で2位、中学時代は2022年九  
州ジュニアゴルフ選手権で2位、20  
22年日本ジュニアゴルフ選手権競技  
(女子12歳〜14歳の部)14位の好成  
績を残した。

中学3年時には、「福岡カンツリー  
倶楽部 和白コース」のクラブチャンピ  
オンシップで優勝を飾る。



取材に同行してくれた父親と記念写真。「良いところも悪いところも素直に表現  
する子なので、このまますくすく育ってくれば」と父親談

「中学1年生の頃からクラブ選手  
権に出させてもらっていましたが、中  
学最後の年だから絶対に優勝したい  
気持ちがありました。メンバーさん、ゴ  
ルフ場の皆さんにご指導頂き、家族  
にも支えられてようやく優勝するこ  
とができてとても嬉しかったです」

今春から西南学院高等学校へ進  
学。高校生活で思い描く夢を聞いて  
みた。

「高校生の間に九州大会や全国大  
会で優勝を目指し、応援して下さい  
ている方々への感謝を忘れずに夢の  
実現に向けて頑張ります」

努力



Q.好きな  
言葉は?

中間 理桜

## 中間理桜さんのトリセツ

- Q.ドライバー平均飛距離は? ... 250ヤード
- Q.ベストスコアは? ..... 68(福岡国際カントリークラブ)
- Q.得意なクラブは? ..... ミドルアイアン
- Q.ストレス解消法は? ..... リンちゃん(シーズー犬)と遊ぶ
- Q.好きな食べ物は? ..... わらび餅
- Q.好きな音楽は? ..... TREASURE(トレジャー)の「HELLO」
- Q.長所、短所は? ..... 長所は明るく素直、短所はおちょこちよい
- Q.休日の過ごし方は? ..... 友達と遊園地で遊んだり、ショッピングを  
楽しみます!

長崎県大村市へUターン  
経験ゼロからのキャリアチェンジ

九州の星  
Star of Kyushu

| 82 |

頑張るあなたを  
応援するコーナーです





▲ウラノ長崎工場前(所在地:長崎県東彼杵郡東彼杵町八反田郷57-27 東そのぎグリーンテクノパーク工業団地内)

## 医療福祉系から航空部品製造業へ転身

航空機器部品加工のウラノ長崎工場  
で働く濱田侑希恵さん。

「前職は福岡で高齢者施設や病院に勤務しながら社会福祉士、介護福祉士の資格を取得し、医療相談員として患者様やご家族の退院支援にあたっていました」

祖母の病気を機に長崎県大村市にUターンを決意。2018年8月、派遣社員としてウラノに入職した。得意の英語を活かし規格文書等の翻訳など、品質管理業務に従事。その人柄と仕事ぶりを評価され、半年後には正社員になった。

「まさか自分が工業系に転身するとは思ってもみませんでした(笑)。知らないことばかりでしたが、上司や先輩、技術

顧問から、金属加工の知識を一から丁寧に教えてもらいました。良い人が多くて、人に恵まれています」

ウラノで働いて約5年。自社製品への愛着もひとしおだ。

「飛行機に乗る時、自社の部品が使われている機体だと嬉しくなります！」

一昨年、英検1級を取得。昨年4月から会社からのバックアップもあり、副業で子どもたちへの英語レッスンをスタートさせた。

「地元に戻って良かったのは、家族と一緒にいられること。人が温かくて、海がすぐ見えて、魚介が美味しい。最高の場所です！」

## 濱田 侑希恵

HAMADA YUKIE

Age 35

長崎県大村市育ち・在住

勤務先:株式会社 ウラノ 長崎工場  
利益創出グループ

ウラノHP



▲「この人たちの力になりたい!」が濱田さんの仕事の原動力



▲尊敬する先輩方と一緒に





FPGビジネス  
コンサルティングの

# 釣り道

ちよつと  
つりみち

[ 幽玄の火口湖  
ハス編 ]  
Vol.19



①神秘的な湖・御池 ②霧にかすむ霧島神宮 ③これがハス。関西では「ケタバス」と呼ばれる ④坂本龍馬と妻お龍のハネムーンの地・霧島 ⑤御池に行くまでの小道

「ひむか」の国にある、天孫降臨の地、霧島。

遠い昔、日の出づる方に向けるくと景行天皇が呼んだその地には、さらに遠い昔、神々の子孫が降り立った霊峰がそびえ立っています。深い霧に包まれることも多いその山塊の麓には、厳かな霧囲気を纏う霧島神宮が鎮座しています。その程近く、国内最深の火口湖が緑の中に青く澄んだ神秘的な水面を湛えていることはあまり知られていません。

周囲4kmにも満たない森の中の神秘的な湖の100m弱の水深は、湖水の最深部に冷水魂を保ち続け、南国・宮崎には似つかわしくない冷水性のニジマスの他、国産や外来の様々な淡水魚を育てています。そのニジマスが活発に活動し釣り人が岸から釣りで狙えるのは言うまでも殆ど鹿児島に近い南国の宮崎です。気温水温が低い冬期がメインになります。

しかし、いざ神秘的な火口湖を目にした時、筆者は竿を出さずにいられなくなります。南国の初夏の日差しが夕立で冷やされ、湖面に霧が立ちのぼり幽玄な様子を魅せるとき、筆者はその湖岸に行んでいました。

水面下の様子がわかる偏光グラスをはめて水面を見やると、増水したのか水中に立ち木が沈んでいます。こんなところには必ず獲物がいます。その横の、さらに深くなっていると思しき箇所には、スプーンと呼ばれる金属片の疑似餌を投げ込みます。煌きながら沈んでいくスプーンに、一瞬違和感を感じ、ハリ掛かりさせる動作をしましたが何も起こらず。それからは、ゆつくりとリールを巻いて水中を泳がせてきました。

すると、「ガツンッ！」と強い反応があり、あわやニジマス!?と期待しつつもバタバタと暴れながらも上がってきたのは軽めの青紫色に輝く「ハス」と呼ばれる魚。この魚は元々九州には生息しておらず、本来は関西の琵琶湖水系にのみ分布しており琵琶湖産の稚鮎の全国放流に混じって生息域が拡大した国産外来生物と言われる淡水魚なのです。

筆者は、お前も知らん土地に生まれて大変やな、一声かけてやさしく湖面に返してやりました。夕暮れ時には神秘的な霧囲気の火口湖も夜のとほりが下りると怖い(泣)。  
……ので、もう帰ります。



Webライブセミナー&対面セミナー

～令和時代も社会人の必須スキル～

# 接遇・マナー実践セミナー

接遇やビジネスマナーは、職場内はもちろんお客様とのコミュニケーションや信頼関係の土台であり、全てのビジネスパーソンに必須となるスキルです。このセミナーでは、押さえておきたい知識とワーク実践を中心に“接遇・マナーが必要な理由”を考えながら、“現場で実践する・できる”ことを目標に進めます。新入社員の方は、社会人のファーストステップに必要なマナーの基本習得のために、既に現場で経験を重ねた若手社員の方には、あいまいな点や我流を見直し、今の立場や役割でよりパフォーマンスを発揮するための“学びなおし”となるセミナーです。講師がエアラインで実践していた上手いコミュニケーションのコツや失敗から学んだことなど、皆さんの日頃の仕事に活かせるヒントとしてお伝えします。接遇・マナーの基本を見直し、ビジネスパーソンとしての魅力を一緒に磨きましょう！



講師プロフィール

Office y Quality 代表

イケマツ ユキ  
**池松 由紀**氏

- 国家資格キャリアコンサルタント ● 特定非営利活動法人日本キャリア開発協会認定 CDA
- 日本マナー・プロトコール協会講師養成講座修了
- ポジティブサイコロジースクール認定 レジリエンストレーナー
- 裏千家茶道講師 茶名 宗由

開催日・会場

2023  
**6/8**木

北九州市会場：  
福岡銀行 小倉支店

対面

北九州市小倉北区船場町2-1 5F小倉セミナールーム

2023

**7/19**水 オンライン

Zoom

主なプログラム

1. 接遇・マナーの基本 ～基本の型をととのえる～

- ◆接遇とは ◆マナーとは
- ◆接遇・マナーの重要性 (Customer Satisfaction)
- ◆マナー5原則 (表情・挨拶・態度・身だしなみ・言葉づかい)

2. シーン別マナー ～会話をブラッシュアップ～

- ◆電話応対 ◆名刺交換 ◆席次
- ◆来客応対/訪問のマナー

3. 接遇・マナー力を仕事で発揮する

- ◆信頼関係をつくる ◆報告・連絡・相談をレベルアップ
- ◆クレーム対応の基本ポイント
- ◆接遇マナー力とこころの関係

開催方法

対面・Zoom

時間

全日程10:00-17:00

対象

新入社員・若手社員  
ビジネスマナーを  
学び直したい方

定員

会場開催 各30名  
オンライン開催 50名

受講料 (税込) / おひとりさま

FFG経営者クラブ会員： **10,000円**  
会員以外：**15,000円**  
(FFG経営者クラブ同時入会申込時は10,000円にて受講可)

お申込み  
方法

1. 下記のホームページにアクセスの上、『セミナー・研修会』の「募集中のセミナー」よりお申込みください。  
**FFGビジネスコンサルティングホームページ** <https://www.ffgbc.com/>
2. 後日、お申込時にご登録いただいたメールアドレスにセミナーの詳細をお送りします。

お問い  
合せ先

株式会社FFGビジネスコンサルティング 〒810-0001 福岡市中央区天神2-13-1  
TEL 092-723-2244 FAX 092-721-9258



ホームページは  
こちら

# 長崎だより

長崎の情報を  
お届けします

FFG調査月報の姉妹誌「ながさき経済」を発刊している、ふくおかフィナンシャルグループの長崎経済研究所。長崎の旬な情報を提供するコーナー「長崎だより」の今月号は、株式会社ミライステラス 取締役 下高 敏彰様から「日本の原風景である『棚田』を未来永劫残すために」と題し寄稿していただきました。

## 長崎経済研究所による「ながさき経済web」随時更新中!



当研究所が発信する最新の情報をメールでお届けします。

メールマガジンの登録はこちら▶



ながさき経済web画面

## お問い合わせ

### 株式会社長崎経済研究所

長崎市銅座町1番11号  
十八親和銀行本店内  
TEL095-828-8859



### 長崎経済研究所とは

長崎県の経済・社会・産業動向などに関する調査研究及び企業経営や県民の生活のお役に立つ情報をご提供するとともに、各種経済・文化団体の事務局活動等を通じて、地域社会に貢献することを目指しております。







# 日本の原風景である「棚田」を 未来永劫残すために

寄稿 下高 敏彰

## はじめに

はじめまして、下高敏彰と申します。京都府精華町出身、大学入学と同時に長崎へ移住しました。現在は、佐世保市鹿町町にある口ノ里棚田で株式会社ミライステラスの一員として「棚田を後世へ残す」事業を取り組んでいます。棚田の農業は、現代農業の問題である高齢化や担い手不足、そして生産効率の悪さに加え近年の社会情勢の影響による燃料費や農業資材の高騰など、たくさん課題を抱えています。棚田の数は年々減少しており、過去20年から現在まで棚田の数は30%も減少しているといわれています。そんな課題をたくさん抱えている棚田ですが、昔から続く素晴らしい原風景や文化が根付き、食糧生産はもちろんのこと独自の生態系が生き、あの景色と環境は人々に癒しを与えてくれます。

私は、そんな棚田に魅了され、この素晴らしい日本の棚田を後世へ未

## Profile



株式会社ミライステラス  
しもたか としあき  
取締役 下高 敏彰

1990年、京都府精華町生まれ。環境問題の地球温暖化と農業について学ぶため、長崎総合科学大学人間環境学部環境文化学科へ入学。大学で農業気象学と微生物学、土壌学を学び、学術博士を取得。2018年に長崎総合科学大学客員研究員に就任し、研究員としてのノウハウを生かし、YouTubeのいじりチャンネルで情報発信に取り組む。

大学の研究で訪れた長崎県佐世保市鹿町町にある口ノ里棚田の景色に感動し、またいずれこの棚田も廃田することを知り、棚田を後世に残すプロジェクトを仲間と共に始め、2022年3月に株式会社ミライステラスを創業した。

来永劫続けていける仕組みを創りたくて、現在の関係人口を増やすことで棚田が守られる「自給自足のシェアリングエコノミー」という取り組みを行っています。今回はそんな私たちの現在の取り組みに至った経緯や今後の棚田農業の可能性についてお話しさせていただきます。

## 日本の原風景、 口ノ里棚田との出会い

私は学生の頃、地球温暖化により年々気温が高くなることで米の収穫量や品質にどう影響を与える



HP



YouTube



Instagram





のか、またどのような対策が必要かについて研究をしていました。特に東日と西日の日射量の違いが米の収穫量や品質にどう影響を与えているかについて研究していました。すなわち、斜面地が多い長崎はうつつつけの研究フィールドというわけです。

もちろん棚田で研究することもありました。例えば長崎市の中尾棚田で研究をしたこともあります。しかし、米を研究していた6年間の時には口ノ里棚田の存在自体知りませんでした。

では、どこから口ノ里棚田と出会ったのかというと、研究分野が広がった博士課程に上がった時、米以外にも土壌学や微生物学を学び始めた当時、今一緒に活動している前田君が農業の分野に飛び込み、土づくりなどを私のところへ学びに来ました。その時に初めて前田君の実家が棚田にあることを知り、そして、せっかくなら当時研究開発していた下水汚泥を原料とした肥料を水田

で実証したいとお願いし、初めて佐世保市鹿町町にある口ノ里棚田に行きました。

案内されるまま鹿町町に行き、そして道が狭い山道に連れていかれ森の坂道を登っていくと、10分後、その光景は突然現れました。さっきの森の中から一変して、開けた時には一面美しい棚田の景色が広がっていました。私はその時とても感動したことを覚えています。そして、初めて前田君の実家に行き、ごはんをごちそうになりました。

口ノ里棚田で出来たお米を食べたときに衝撃を受けました。私も大学院生の時、米の研究で、各地のお米を食べてきたつもりでしたが、この棚田のお米は今まで食べたお米の中で一番おいしいと感じました。

そんな感動を感じながらご飯を食べていましたが、前田君のお父さんと話をしている棚田の現状を知り衝撃を受けました。「65歳から若手、毎年やめる人が増えてきており耕作放棄地も増えてきた。この棚





田もあと数年でだれもやる人がいなくなるだろうね」私は衝撃を受けました。こんな美しい棚田が、こんな美味しいお米が、あと数年もすれば失われるということに…。

この口ノ里棚田は、当時はネットで調べても出てきません。長崎の人に聞いても知らない、そんな人知れない棚田でした。そのため、棚田百選のように美しい石垣や観光地のような雰囲気もなく、本当に生活の一部に棚田がある、そんな棚田でした。しかし、お米のおいしさはもちろんのこと、棚田から望める海から平戸に沈む夕日を眺めることができ、それは大変美しい絶景を見ることが出来ます。私は口ノ里棚田に初めて来て、この素晴らしい風景と美味しいお米を食べたことでいつの間にか口ノ里棚田に魅了されファンになりました。

そして、さらに私が口ノ里棚田を本気で残そうと思った理由は、この棚田の唯一の若者である前田君の思いである「この景色を残したい」

の一言で私の心は動きました。ここから私たちの挑戦が始まりました。

### 【第一の挑戦】 土づくり

私の農業への挑戦は、まず土づくりから始まりました。作物を育てるためには、良質な土が必要だと考え、研究員時代に研究していた肥料を使って、3年間かけて土づくりを行いました。多くの時間と手間をかけ、最高品質の土を作り上げることができました。

その土は田んぼの土でありながら、ガタ臭さがなく、泥パックができるほどきめ細かく、味や臭いにも雑味がなく、品質は非常に高かったです。また、田んぼには、ドジョウ、ゲンゴロウ、ホタルなどの水生昆虫が戻り、生態系が復活したことに大変喜びました。





## 【第二の挑戦】 水車精米

次に、美味しいお米を作るために、昔ながらの技法である海水選別法を用いて良質な<sup>もみ</sup>籾を選び、手押し草取り機を使って除草作業を行いました。人手と機械では効率に大きな差があり、雑草に勝つことはできませんでしたが、私たちは諦めず、収穫後の処理にもこだわりました。

お米の美味しさを左右するのは、加熱処理の方法であることを知り、乾燥は収穫後掛け干しでゆつくり行い、粳摺りは地域の精米所にて低温で行い、そして精米は水車でじっくりと6時間かけて行いました。手間をかけた結果、最高品質のお米を作り上げることができました。

## 【第三の挑戦】 「<sup>つくもしずく</sup>九十九雫」ブランド

数年が経ち、最高の土や精米技術を手に入れた私たちは、そのお米



を「九十九雫」というブランド名で販売を始めることにしました。初めは一般的なお米よりも10倍以上の価格設定であったにもかかわらず、販売数が伸び、毎年完売するほど人気がありました。

しかし、無農薬で育てるために手間がかかり、雑草除去などの作業も大変でした。その結果、収穫量が少なく、利益もわずかでした。このような経験から、生産効率を重視した従来の農業とは違ったアプローチをとることで、社会に貢献することを目指すようになりました。

## 【第四の挑戦】 インバウンド事業、 棚田でグランピング

しかし、私たちの挑戦は終わっていませんでした。2019年、親和銀行（現十八親和銀行）、FFGビジネスコンサルティング、株式会社VISIT九州の協力を得て、国の事業「最先端観光コンテンツインキュベーター事業」に参加しました。この事業は、佐世保米軍を対象に、日本の文化を体験し知ってもらい、棚田で癒しを提供するものでした。

棚田の中にテブルとテントを設置し、地元の婦人会が地元食材を使った郷土料理を提供しました。また、地域の和太鼓演奏や真剣切り、酒造りの見学など、地元でしか味わえない体験や文化を提供し、米軍の方々からは大変喜んでいただき、成功を収めました。この事業を通じて、棚田の新たな利用の可能性や地域農業の発展に期待を寄せようになりました。







しかしながら、2020年4月にグランピング事業を本格的に始める予定でしたが、世界的に流行した新型コロナウイルスの影響により、断念せざるを得なくなりました。この状況下で私たちは、どのように事業を進めるべきかを模索しながら、慎重に判断を下すことが求められました。

一方で、この経験を通じて、事業計画の策定やリスク管理、危機管

理についても学びました。

また、新型コロナウイルスが引き起こした社会的・経済的な変化に対応するために、柔軟に対応する能力を身につけることができました。このような経験から、いかなる状況でも挑戦し続けることが重要であると感じ、新しいことへの挑戦を続けていくことを決意しました。

### 【第五の挑戦】

## 自給自足のシェアリング エコノミーがもたらす 未来への希望

私たちは、これまでにたくさん挑戦をしてきました。失敗を重ね、多くの経験を積んできました。そして今、私たちは新たな挑戦に臨んでいます。それは、「自給自足のシェアリングエコノミー」です。

この挑戦の目的は、日本の原風景である「棚田」を未来永劫残すことです。これまでの経験と知識から得た力を結集し、棚田を生かした農業





体験やアクティビティを提供することで、棚田を活性化させることが狙いです。

棚田をシェアすることで、棚田で出来た作物だけでなく、棚田のローションや文化を共有することができます。これにより、棚田を訪れる人々は、新しい発見や学びを得ることができま

一般的に農業は、農家が農作物を生産し、販売することで利益を得る仕組みです。しかしこの仕組みでは、生産効率の悪い中山間の農業は、生産効率が高い大規模農業と同じ土俵に立ったとしても負けてしまいます。そのため、中山間地域での離農が進んでいます。

そこで私たちが提案するのは、中山間地域での農業を、単なる農作物の生産だけでなく、棚田のローションや文化を活かした食育や癒しの場として提供することです。そして、農業に関わる人が誰でも生産に携わり、収穫する仕組みにすることで、高齢化や担い手不足に

よる人手不足問題を解決し、参加者には食育や安心安全な食材の調達など、様々な利点が得られます。

この新たな挑戦によって、中山間地域の農業が持続可能なものとなり、日本の原風景である棚田が未来永劫残せます。

### 自然と共に生きる

### 棚田を活用した自給自足のシェアリングエコノミー

この「自給自足のシェアリングエコノミー」は、単に農作物を生産するだけでなく、共同体や地域コミュニティを形成することも目的とした取り組みです。参加者が自分たちで育てた作物を分かち合い、協力して農作業を行うことで、共同体の絆が深まります。また、棚田での活動に参加することで、自然や地域の文化に触れ、豊かな人間関係が築かれることが期待されます。

また、日本の原風景である棚田を保全することにもつながります。







## 最後に

近年、農業人口の減少や高齢化により、中山間地域の棚田が耕作放棄地となるケースが増えています。しかし、この取り組みによって、棚田を活用することで、農業を継続することができ、棚田の景観や生態系を保全することができます。

さらに、社会的な価値を生み出すことが期待されます。自然や地域の文化、食の大切さを学び、共同体を形成することで、地域の活性化にもつながります。今後、このような取り組みが全国各地で展開され、日本の中山間地域の棚田が活性化することを期待しています。

私たちは、この「自給自足のシェアリングエコノミー」を通じて、新しい未来を切り開くことを目指しています。棚田をはじめとする日本の豊かな自然を守り、未来に残すために、私たちの挑戦は続きます。

「農業」と聞いたら、皆さんは何を思い浮かべますか？普通なら「畑を耕して、種を植えて、育てて、収穫する」を思い浮かべるかと思います。

しかし、私にとっての農業は、それだけではなく、私にとっての農業は、それだけではなくありません。農業には無限の可能性があり、食糧生産だけでなく、文化や技術の継承、自然環境の保全、そして地域社会の活性化など、多岐に渡る役割を担っています。

そんな時代だからこそ、共感していただいた様々な分野の仲間と知恵を絞り、日本の原風景である棚田を守っていきたくと考えています。私たちがいなくなっても、誰かによつて棚田が耕され、美しい風景と自然が未来に残るようにするために、今できることを精一杯行いたいと思っています。

また、棚田農業を通じて学んだことや、新たな取り組みによって得た知見は、農業の未来につながる重要な資源です。今後も、これらの経験

や知識を活かし、より良い農業の実現に向けて努力を続けていきます。

私たちにとって、今回の新たな取り組みはまだまだこれからですが、この活動に共感し、興味を持つ方は、左記URLのHPやInstagram[mirai\_s\_terrace]から直接ご連絡ください。今後、一緒に学び合い、成長し合える仲間との出会いを大切にしていきたいと思っています。

この文章を最後まで読んでいただいたすべての方に感謝し、これからも農業の発展を強く思いながら今回の筆を納めさせていただきます。



●株式会社ミライステラスHP  
<https://miraisterrace.com/>

●YouTubeチャンネル:土いじりチャンネル  
[https://www.youtube.com/@tsuchijiri\\_channel](https://www.youtube.com/@tsuchijiri_channel)



十八  
親和

# アート ギャラリー



Juhachi  
Shinwa  
Art Gallery

当館で所蔵する作品を紹介します



▲有田 色絵牡丹文髷皿 H 8.5 φ27.5 cm 高台:H1.2 φ11cm

鮮やかな色絵が施された「色絵牡丹文髷皿」は、江戸時代に輸輸出として作られたものです。深さのある皿の口縁は、帽子の鑊のようにせり出しており鑊縁と呼ばれます。その口縁の一部が半月状に欠けたように見えますが、これは髷の手入れをする際に皿を首にあてがえるようにする為の意匠とされ、皿の上部の二つの穴に紐を通して使用しない時は壁に掛けたと言われています。

本作は見込みにポリウムのある花籠文、口縁に流麗な花筏図を配し、赤と緑の対比や染付の藍色と金彩など華やかな意匠が目を引きます。このタイプの皿は実用品と考えられる一方で、壁掛けの装飾品として用いられたことが知られています。実用品と装飾品では用途がまったく異なりますが、肥前地域の焼き物が遠く離れた地で好まれ、その暮らしを彩ったことを伝えてくれます。本作は陶磁器展示室Ⅰにて公開しています。

(十八親和アートギャラリー学芸員 藤松綾子)



十八親和  
アートギャラリー

開館時間：10:00～16:00(入館は15:30まで)  
休館日：日・月・祝日、年末年始(12/30～1/4)  
※土曜日が祝日の場合は開館  
長崎県佐世保市島瀬町4-24 十八親和銀行島瀬ビル1F

鑑賞無料

TEL0956-23-4856  
西肥バス島瀬町バス停から徒歩3分  
JR佐世保駅から徒歩約20分

